

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	I	(1)									
1	I	I	(1) (2)	男女共同参画センター学習	NPO法人たかまつ男女共同参画ネット(委託)	高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催する。	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施する。 学習研修事業(全45回) ・男女が共に活躍するまちづくり講座5回 ・参画センター出前セミナー 7回 など	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施した。 学習研修事業(全53回) ・男女参画まちづくりセミナー 6回 ・参画センター出前セミナー 17回 など	4	予定通り事業が実施され、年度目標も達成できたが、最終年度の目標達成のためには、更なる取組による成果向上が必要のため	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施する。 学習研修事業(全45回) ・男女が共に活躍するまちづくり講座5回 ・参画センター出前セミナー 7回 など	男女共同参画推進室
2	I	I	(1) (2)	男女共同参画週間事業	市	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の啓発のための講演会・パネル展、弁護士による法律講座・相談等を実施する。	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行う。 男女共同参画啓発事業(6/23~29) ・街頭キャンペーン ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行った。 男女共同参画啓発事業(6/23~29) ・街頭キャンペーン ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	3	予定通り事業が実施されたが、設定した目標が達成されていないため	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行う。 男女共同参画啓発事業(6/23~29) ・街頭キャンペーン ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	
3	I	I	(1)	消費者教室	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育をテーマにした小学生対象の親子教室を開催する。	夏休み親子消費者教室の実施 8月に1回開催 参加者は市内の小学生の親子40組	夏休み親子消費者教室の実施 (8月3日) 参加者は市内の小学生の親子39組	5	事業実施時に行ったアンケート結果から「とても楽しかった」「まあまあ楽しかった」の合計が約91%と高く、「次回も参加したい」という感想も多かった。	夏休み親子消費者教室の実施 8月に1回開催 参加者は市内の小学生の親子40組	
4	I	I	(1)	多重債務問題研修会	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	多重債務問題の根本的な解決を目指し、多重債務の現状や解決方法についての研修会を開催する。	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を1回開催	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を開催(9月29日)参加者数109人	5	多重債務に関する相談は減少傾向にある中、対策よりも未然防止を考えた講演内容にした結果、参加者にわかりやすいものとなり、アンケート結果からも「よかった」が84%と高かった。参加者数も前年度を上回った。	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を1回開催	くらし安全安心課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	1	(1)									
5	I	1	(1)	消費者ウィーク	市(消費生活パネル展は県との共催)	消費者の日(5月30日)を含む消費者ウィークに、各種啓発事業を実施する。	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成27年5月23日・24日 イオンモール高松1階シーコート ・消費者月間事業記念講演会 平成27年5月28日(水) 市役所13階大会議室	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成27年5月23日・24日 イオンモール高松1階シーコート ・消費者月間事業記念講演会 テーマ「子どもの生きる力を育てる～お金の教え方」 平成27年5月28日(木) 市役所13階大会議室	4	事業実施時に行ったアンケート結果から「とても楽しかった」「まあまあ楽しかった」の合計は前年度比では若干下回ったものの、75.8%と満足度は高かった。	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成28年5月28日・29日 イオンモール高松1階シーコート ・消費者月間事業記念講演会 平成28年5月26日(木) 市役所13階大会議室	
6	I	1	(1)	暮らしをみなおす市民のつどい	高松市暮らしを見直す市民集い運営委員会(共催)	高松市消費者団体連絡協議会との共催により、市民参加型の消費者の祭典として実施し、パネル展・活動発表・講座等を開催する。	「消費者ウィーク事業」と同時開催 平成27年5月23日・24日 イオンモール高松1階シーコート 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・エコ工作・啓発ミニ講座ほか)	「消費者ウィーク事業」と同時開催 平成27年5月23日・24日 イオンモール高松1階シーコート 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・特殊詐欺被害防止寸劇・エコ工作・啓発ミニ講座ほか)	4	事業実施時に行ったアンケート結果から「とても楽しかった」「まあまあ楽しかった」の合計は前年度比では若干下回ったものの、75.8%と満足度は高かった。	「消費者ウィーク事業」と同時開催 平成28年5月28日・29日 イオンモール高松1階シーコート 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・エコ工作・啓発ミニ講座ほか)	くらし安全安心課
7	I	1	(1)	消費生活出前講座	市	消費生活を取り巻く社会経済情勢に対応し、消費者意識の高揚・消費生活に関する知識の普及のため、消費生活出前講座を実施する。	消費生活相談員を講師に、消費者被害未然防止・拡大防止を目的とした講座を、市内のコミュニティセンターなどで実施する。また、消費者団体連絡協議会にも「寸劇」コーナーを一緒に行う等により講座に参加してもらい、出前講座が各地域に広がるよう努める。	実施回数:24回(コミュニティセンター、老人会等)	5	実施回数・参加者数とも昨年度より大幅に増加した。また、高齢者福祉関係の事業所等へも出向き、施設従業員も交えて高齢者の消費者被害防止啓発を行うことができた。	消費生活相談員を講師に、消費者被害の未然及び拡大防止を目的とした講座を、市内のコミュニティセンター等で実施する。また、消費者団体連絡協議会と連携して「寸劇」を盛り込む等により楽しく見てもらい、出前講座が各地域に広がるよう努める。	
8	I	1	(1)	ひとり親家庭就労自立支援セミナー	市	ひとり親を対象に、早期就職に必要な知識・技術等を習得できるよう、きめ細やかで特色ある講座を開講する。	事業開始後、三年を迎え、年々申込者が減少傾向にあったことから、事業を見直し、平成27年度は開催しないこととした。	平成26年度で中止(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	こども家庭課
9	I	1	(1)	犬猫の飼う前教室	市	動物愛護意識を高め、動物の適正な飼養について理解を深めるため、講習会を開催する。	引き続き、個別開催を実施し、受講しやすい環境を設定する。	安易な飼養の抑制、終生飼養の徹底と中心に講習会を保健所で実施した。 実施回数:96回 受講人数:223人	5	前年度より大幅に実施回数及び受講人数が増え、譲渡及び動物愛護や適正飼養の普及啓発を推進できた。	引き続き、個別開催を実施し、受講しやすい環境を設定する。	生活衛生課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
10	I	1	(1)	犬の飼い方教室	市	犬を飼い始めた市民を対象に、犬の基本的な飼い方・しつけ方、健康管理や飼養に関するルール・マナー等について講習会を開催する。	開催するコミュニティセンターを増やし、より参加を促す。また、内容を細分化し、飼い主が知りたい情報を選択、提供できるよう、検討する。	基本的な飼い方、しつけ方、健康管理、お悩み相談等について、より地域から情報発信できるように、各コミュニティセンターで開催した。実施回数:5回 受講人数:32人	4	コミュニティセンターにおける開催を増やしたが、周知がうまくできていなかったのか、参加人数が少なかった。しかし、前年度より受講人数が増えた。	また、内容を細分化し、飼い主にとって必要な情報を選択、提供できるよう、検討する。	生活衛生課
11	I	1	(1)	ひきこもり等の支援事業	市	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対応し、県ひきこもり支援センターや関係機関と連携しながら支援を行う。	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対し、県ひきこもり支援センター等関係機関と連携しながら支援するとともに、国のひきこもり対策推進実施要領を踏まえ、ひきこもりサポーター派遣事業を実施する。	ひきこもりに関する相談が21件あり、職員による相談支援及び家庭訪問、関係機関の紹介などを行った。派遣事業に結びついたのは、2件で派遣回数は延べ6回だった。	3	広報等でひきこもりサポーター派遣事業の周知を行い、様々な相談が寄せられたが、サポーター派遣に結びついたのは、2件だった。	サポーター派遣事例:2件 派遣回数:延10回 NPO法人KHJ香川県オーリーブの会(ひきこもり家族会)に委託し、若年層ひきこもり相談窓口を設置して行政機関より相談しやすい環境を整える。	保健センター
12	I II	1 2	(1) (2)	NPO等の活用による環境学習活動	市	多様な環境活動を行うNPO等の活用により、専門的で効果的な環境学習の機会を提供する。	26年度に引き続き、環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施し、参加者の環境意識の向上に努める。また、新たな団体等に呼びかけを行ったりNPO等の活動状況を発表する場を提供するなど、協力NPO等の増加を図る。	環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施した。また、環境活動団体の活動状況を発表する場を設けるとともに、新たな団体等より協力を得られた。	5	新たな環境活動団体等に呼びかけを行った結果、NPO等、協力団体が増えた。	27年度に引き続き、環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施し、参加者の環境意識の向上に努める。また、新たな団体等に呼びかけを行ったりNPO等の活動状況を発表する場を提供するなど、協力NPO等の増加を図る。	環境保全推進課
13	I I	1 5	(1) (3)	高松テルサ文化教養・研修事業	市	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサで、各種文化教養・スポーツ講座等を開催する。	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサにおいて、パソコン講座・音楽教室・英会話教室等の各種文化教養講座を開催する。	パソコン講座、うたごえコーラス等音楽コース、自力整体やこどものための書き方(硬筆・毛筆)講座など、多種多様な講座を開設した。 パソコン講座受講者数:763人 音楽コース受講者数:608人 その他講座・教室受講者数:440人	3	昨年度に比べ、音楽コースの受講者は増加したものの、全体の受講者数は若干減少しており、今後、講座メニュー等の更なる工夫が必要とされるため。	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサにおいて、パソコン講座、音楽教室・英会話教室などの各種文化教養講座を開催する。特に、市民の声を反映させた講座の開設や、幅広い年齢層を対象とした企画に取り組む。	産業振興課
14	I	1	(1)	就活応援・適職相談事業	市	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。	1月20日、21日の2日間開催。就労・職業相談に加え、企業誘致優遇制度による指定企業紹介コーナーを設置し、企業のPRを行った。 来場者数:632人 相談件数:51件	3	昨年度より、相談件数・来場者数ともに増えており、年度目標を達成できたが、開催場所等の課題もあるため。	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。また、今年度は開催場所の変更を予定している。	
15	I III	1 2	(1) (2)	成人式式典事業	市	新成人を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますための式典を開催する。	開催日:平成28年1月10日(日) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:約4,000人	開催日:平成28年1月10日(日) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:4,018人 出席者数:2,540人 出席率:63.2%	5	会場がサンポートホール高松に変更になってから過去最高の出席率となったため。	開催日:平成29年1月8日(日) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:3,867人(4月3日 現在の市内住民登録者)	生涯学習課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	II	(1)(2)									
16	I	II	1 2	(1) (2)	知的障がい者青年教室	市	知的障がいのある青年が、集団活動を通して、人とふれあい社会人としての知識・技能を修得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者への理解を深める機会として教室を開設する。	年間8回(5、6、7、9、10、11、1、2月)実施 受講生登録予定者数 45人 ボランティア登録者数 50人	4	昨年と比べ、受講生・ボランティア登録予定者数は減っているものの、アンケートでは、比較的高評価だったため。	年間8回(5、6、7、9、10、11、1、2月)実施 受講生登録予定者数 45人 ボランティア登録予定者数 50人	生涯学習課
17	I		1	(1)	生涯学習カレッジ事業	市	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供する。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数11,000人を維持する。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数11,000人を目指す。	
18	I	I	1 5	(1) (2)	コミュニティセンター講座	市、コミュニティセンター	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供する。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数106,800人を目指す。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数107,100人を目指す。	生涯学習センター
19	I	I	1 5	(1) (2)	高齢者教室	市、コミュニティセンター	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数24,000人を目指す。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数25,200人を目指す。	
20	I	I	1 5	(1) (2)	女性教室	市、コミュニティセンター	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供し、講座参加人数12,700人を目指す。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供し、講座参加人数12,900人を目指す。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
21	I	1	(1)	本のソムリエ派遣事業	市	図書館司書(本のソムリエ)を派遣し、図書館の仕組みや便利な使い方、本の上手な探し方などを周知する。	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図る。(7回派遣) H27は希望者が増えるようチラシやHP等を利用し、広報活動に力を入れていく。	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図った。(7回派遣) チラシの配布、ホームページによる広報活動を行った結果、目標数を達成した。	5	目標の派遣回数を達成した。	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図る。また、チラシの配布、ホームページによる広報活動を行い、事業の周知を図る。	中央図書館
22	I	1	(1)	交通安全教室(再掲) (No. 108)					選択してください			くらし安全安心課
23	I	1	(1)	市民グループ学習支援事業(再掲) (No. 161)					選択してください			生涯学習課
24	I	1	(2)	人権・同和問題啓発活動事業	市、コミュニティセンター、高松市人権啓発推進協議会(26年度以降、人権尊重都市たかまつ市民会議)	市民の人権意識の普及・高揚を図るため、啓発物品等の作成・配布及び人権フェスティバル、市民のつどい、ハンセン病を正しく理解する講演会等を開催する。	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○人権を守る市民のつどいの開催 年1回 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ポスター700枚、ポケットティッシュ11,000袋、リーフレット12,500部、ステッカー1,100枚 ○人権フェスティバルの開催 6月7日 ○人権を守る市民のつどいの開催 12月13日 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 6月30日~7月3日 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 2月26日 ○人権の花運動 小学校6校配置	5	○計画どおり実施できたことにより市民の人権意識の普及・啓発につながった。	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○人権を守る市民のつどいの開催 年1回 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動	人権啓発課
25	I III	1 2	(2) (1)	地域における人権啓発推進事業	市、地域コミュニティ協議会	各地域コミュニティ協議会で選任された人権啓発推進員が、生涯学習推進員と協力して、地域の生涯学習における人権に関する講座の企画・運営及び広報活動を実施する。	○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営及び広報活動	○人権啓発推進員研修会の開催 10月28日、2月26日 ○各地域コミュニティ協議会の人権啓発推進員による啓発事業の実施	4	○計画どおり実施できたが更なる取組みによる成果向上の余地がある。	○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営及び広報活動	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	1	(2)									
26	I	1	(2)	人権・同和問題指導者養成事業	市	人権を尊重する明るい職場づくりや人権に配慮したやさしい企業づくりを推進するため、市内の事業所の代表者や人権啓発等を担当する職員を対象に、指導者研修講座を開催する。	○人権・同和問題指導者研修講座の開催 年1回(2日)	○人権・同和問題指導者研修講座の開催 11月11日・25日	5	○計画どおり実施できた。	○人権・同和問題指導者研修講座の開催 年1回(2日)	
27	I	1	(2)	平和啓発推進事業	市	平和意識の啓発・普及のため、平和を語るつどい・映画祭、空襲写真展、戦争遺品展、講演会等を開催する。	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松空襲70周年事業、高松市戦争遺品展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展の開催 ○平和記念だよりの発行	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松空襲70周年事業、高松市戦争遺品展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展を開催した。 ○平和記念だよりを発行した。(4回)	5	計画通り事業を実施したことにより、市民の平和意識の啓発・普及につながった。	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺品展、平和記念館開館記念事業、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展、非核宣言自治体協議会研修会の開催 ○平和記念だよりの発行	人権啓発課
28	I	1	(2)	許可・登録業者人権研修講座	市	企業等の社会的責任として、人権・同和問題について正しい理解と認識を深めるため、研修講座を開催する。	企業等の社会的責任として、人権・同和問題について正しい理解と認識を深めるため、研修講座を開催する。	11月30日に人権研修講座を開催。講師を招き、「外国人労働者の雇用と人権」について講話等を行った。その他、人権啓発に関するパンフレットも配布した。 受講者数:287人	5	受講者数が目標値を上回り、人権・同和問題に対する企業の意識が高まってきていると考えられるため。	企業等の社会的責任として、人権・同和問題について正しい理解と認識を深めるため、研修講座を開催する。	産業振興課
29	I IV	1 1	(2) (1)	多文化共生事業	市	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、「多言語メルマガ もっと高松」を配信する。	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、毎月第2金曜日に高松市や(公財)高松市国際交流協会等が実施する外国人向けイベントや日常生活、行政、地域などに関する情報等を提供するため、英語・中国語によるメルマガジン「多言語メルマガ もっと高松」を配信する。	毎月第2金曜日に英語・中国語によるメルマガジン「多言語メルマガ もっと高松」を配信し、外国人住民への情報提供を行うことができた。	5	毎月第2金曜日に「多言語メルマガ もっと高松」を配信できており、英語・中国語のメルマガジンへの登録者数も増加しているため。	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、高松市や(公財)高松市国際交流協会等が実施するイベントや地域に関する情報等を、毎月第2金曜日に、英語・中国語によるメルマガジン「多言語メルマガ もっと高松」で配信する。	都市交流室
30	I	1	(2)	かがわ国際フェスタ	市	国際交流・協力活動への参加・理解の促進、市民と在住外国人の相互理解・交流を深めるため、「かがわ国際フェスタ」を開催する。	(公財)香川国際交流協会等と共催で、国際交流・国際協力に携わる県内の団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解の促進とともに、市民と在住外国人との相互の理解・交流を深めるために実施する。	(公財)香川県国際交流協会等との共催で、平成27年10月12日(月・祝)に香川国際交流会館(アィバル香川)を会場として「かがわ国際フェスタ2015」を開催。約4,500人が様々なイベントに参加し、国際交流への理解を深めることができた。	5	目標を上回る参加者数であったため。	(公財)香川国際交流協会等と共催で、国際交流・国際協力に携わる県内の団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解の促進とともに、市民と在住外国人との相互の理解・交流を深めるために実施する。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	1	(2)									
31	I	1	(2)	人権教育市民講座	市	コミュニティセンターで、地域住民を対象に、啓発資料や視聴覚教材を活用した人権教育市民講座を開催する。	26年度未開催のコミュニティセンターにも開催依頼を積極的に行い、52コミュニティセンターで開催する。	延べ39コミュニティセンターで開催延べ2,035名参加	4	地域住民への人権教育推進が図られたが、講座未開催のコミュニティセンターがある。	52コミュニティセンターで開催する。	人権教育課
32	I	1	(2)	男女共同参画センター学習(再掲) (No. 1)					選択してください			男女共同参画推進課
33	I	1	(2)	男女共同参画週間事業(再掲) (No. 2)					選択してください			
34	I	1	(2)	みんなで人権を考える会(再掲) (No. 85)					選択してください			人権教育課
35	I	1	(3)	瀬戸内国際芸術祭推進事業	瀬戸内国際芸術祭実行委員会(補助)	文化芸術の振興と瀬戸内の活性化・地域振興、世界への情報発信のため、3年毎に国際的な芸術祭として「瀬戸内国際芸術祭」を開催する。		瀬戸内国際芸術祭2016の開催に向け、県や関連市町と連携して準備を進めるとともに、平成28年3月20日より春会期を開催した。春会期(～4月17日)来場者数:254,284人	4	前回の芸術祭よりも、1日平均の来場者数は増加した。	瀬戸内国際芸術祭2016開催芸術祭実行委員会負担金芸術祭関連事業(高松市版総合ガイドブック作成及びイベント実施など)	
36	I	1	(3)	市民文化祭	高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ事業運営委員会(補助)	市民企画提案型事業「アーツフェスタたかまつ」と、各地区の特性を生かした地区文化祭の開催を支援する。	平成27年度はアーツフェスタ2015を平成27年5月30日(土)から7月12日(日)まで開催。	開催団体:13 集客数:8,168人 文化芸術団体のコラボレーション企画であるオープニング事業を行った。	4	例年参加している団体が一部参加しなかったことにより、開催団体数、観覧者数は前年度より減少しているが、文化芸術団体の発表の場と相互交流の機会を提供することができた。	平成28年5月28日(土)から7月10日(日)の期間でアーツフェスタ2016を開催。企画は、オープニング事業、主催事業15事業、後援事業3事業を予定している。	文化芸術振興課
37	I	1	(3)	デリバリーアーツ事業	市	普段の生活の中で身近で気軽に文化芸術に親しむ機会づくりとして、市民の希望により出前公演を実施する。	平成27年8月から平成28年3月までの開催期間で、落語、ジャズ演奏、太鼓演奏等6メニューで実施予定である。	開催回数:全16回 鑑賞者数:1,540人 定住自立圏構想として、圏域市町に呼びかけ、さぬき市でも実施した。	4	開催した団体からは好評であるため再度実施したいという要望があり、満足度は高い。	平成28年8月から平成29年3月までの開催期間で募集を行う。落語、アンサンブル演奏、和太鼓、影絵劇、金管五重奏、トルンコンサートの6メニューで実施予定である。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
38	I	1	(3)	文化芸術ホール自主事業	公益財団法人高松市文化芸術財団(補助)	文化芸術ホールにおいて、文化芸術の振興・普及のため、コンサート等各種事業を開催する。	主催(補助)事業11事業、主催(独自)事業3事業、共催(補助)事業2事業を計画。	主催(補助)事業11事業、主催(独自)事業2事業、共催(補助)事業2事業を実施。	5	主催(独自)事業が1事業減となったものの、入場者数は実施事業の大半において計画を上回ったため。	主催(補助)事業9事業、主催(独自)事業3事業、共催(補助)事業1事業を計画。	文化芸術振興課
39	I	1	(3)	まちなかパフォーマンス事業	MUSIC BLUE TAKAMATSU実行委員会(委託)	芸術文化への関心を高め、中心市街地のにぎわいを創出するため、サンポート高松・丸亀町商店街などで、アートに関連した各種イベント等を実施する。	高松ミュージックブルーフェス 街クラシックin高松 高松プラストリート オータムジャムを開催する。	・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 2015 ・街クラシックin高松 ・高松プラストリート ・サンポートオータムジャム ・大道芸フェスタ 上記5事業を実施した。	5	前年度より、公演数・観覧者数が共に増加したため。	・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 2016 ・街クラシックin高松 ・高松プラストリート ・サンポートオータムジャム ・大道芸フェスタ 上記5事業を開催する。	文化芸術振興課
40	I	1	(3)	美術館催し物事業	市	特別展会中に館内エントランスホール等で県内若手演奏家によるミニコンサート等を開催する。	改修工事のためミニコンサートは未実施。但し、リニューアルオープン記念のエントランスコンサートを開催。	リニューアルオープン記念事業として「千住真理子ヴァイオリンコンサート」を開催(H28.3/26)。	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	リニューアルオープン記念「ダンス公演」はじめ、従来のミニコンサート等を特別展に併せてエントランスで開催予定。	美術館美術課
41	I	1	(3) I 4 (1)	ふるさと探訪事業	市(高松市歴史民俗協会、(H26~)高松市文化財保護協会と共催)	市内・近郊各所の文化財に触れ、郷土の歴史・文化の学習ができるよう、年間10回「ふるさと探訪」を開催する。	ふるさと探訪を年間10回開催する 市内・・・松島町(松島神社ほか)、屋島(屋嶋城跡ほか)など7箇所 市外・・・三木町(三木茂資料館ほか)、志度町(地藏寺ほか)など3箇所	ふるさと探訪を年間10回開催した (H27参加者合計 1,120名) 市内・・・松島町(松島神社ほか)、高松城跡ほかなど7箇所 市外・・・三木町(三木茂資料館ほか)、志度町(地藏寺ほか)など3箇所	5	松島町や高松城外堀跡など市街地を探訪した際には140名を超えるたくさんの方に参加いただき、市外開催時には悪天候のなか、熱心にお越しいただいたため。	ふるさと探訪を年間10回開催する 市内・・・郷東町(香東神社ほか)、六条町(高原水車ほか)など7箇所 市外・・・引田町(讃州井筒屋敷ほか)、坂出市(香風園ほか)など3箇所	
42	I	1	(3) I 4 (3)	親子文化財教室	市(高松市文化財保護協会共催)	市内の小学生と保護者を対象に、年2回、郷土の歴史・文化財を学習し、文化財を身近に学ぶ機会を提供する。	①高松張子(ほうこうさん)を作ろう! ②城下町を歩こう! 目標70名	①高松張子(ほうこうさん)を作ろう! ②城下町を歩こう! 参加人数51名	4	夏休み・冬休みの行事として定着している。目標人数については、その年によって行事の内容が異なるため、毎年度目標人数を達成することは難しい。	①たまもんをつくろう!! ②高松城下図屏風をみてみよう!	文化財課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
43	I	1	(3)	石の民俗資料館友の会コンサート	市、石の民俗資料館友の会	地域文化の向上を目指し、石の民俗資料館友の会が、年5回程度、クラシック音楽等コンサートを開催する。	(H27年度中5回開催予定) 「オーボエ&チェンバロ」5/16 「DuOリサイタル」7/25 「日本の詩(仮)」10/17 「(題目未定)」12/19 「オペレッタの楽しみ(仮)」3/12	(H27年度中5回開催) 「オーボエ&チェンバロ ～夜景と楽しむバロックの響き～」5/16 「チェロとピアノの対話 ～兄弟による二重奏の夕べ～」7/25 「美しき日本の歌 ～秋風にのせて～」10/17 「長船伸夫 バリトリサイタル ～父娘で贈るイタリアの夕べ～」12/19 「市民オペラちえちりあ第56回公演『愛しのマリー』」3/12 (H27参加者合計 675人)	5	夜間の開催ではあるが、毎年多くの入場者があり、牟礼地区のコンサートとして定着している。	(H28年度中5回開催予定) 「ピアノトリオの夕べ」5/21 「和田絵里子ヴァイオリンリサイタル(仮)」7/16 「ソプラノリサイタル(仮)」10/15 「サクソカルテット(仮)」12/17 「ソプラノリサイタル(仮)」3/18	石の民俗資料館
44	I	1	(4)	スポーツ教室	公益財団法人高松市スポーツ振興事業団	市民の健康増進と体力向上を図るため、各スポーツ施設の特徴を活かした各種スポーツ教室を開催する。	市民の健康増進と体力向上を図るため、90教室を実施し、延べ40,000人の参加を予定。	108教室 42,613人	5	実施教室数が増え、参加者も増加した。	市民の健康増進と体力向上を図るため、111教室を実施し、延べ43,000人の参加を予定。	
45	I	1	(4)	市民スポーツフェスティバル	高松市市民スポーツフェスティバル実行委員会	市民参加の機会として、小学校区対抗競技10種目、水泳競技大会、トリムの祭典、高松ファミリー&クォーターマラソンを実施する。	小学校区対抗競技12種目(3種目追加)、水泳競技大会、トリムの祭典、高松ファミリー&クォーターマラソンinAIIを実施する	小学校区対抗競技 3,237人 水泳競技大会 320人 トリムの祭典 6,000人 AIIマラソン 1,295人 参加総数 10,852人	4	小学校区対抗競技については、見直し検討委員会による参加要件の緩和、競技種目の追加等から、前年を上回る参加者数となったため。	小学校区対抗競技12種目、水泳競技大会、トリムの祭典を実施する。 なお、高松ファミリー&クォーターマラソンinAIIについては、市民スポーツフェスティバルから切り離れた形で、引き続き、実施する。	
46	I	1	(4)	こんびら健脚大会	市	歩くことの意義を再確認し、足腰の鍛錬と健康増進を図るため、琴平高灯籠を目指して健脚大会を開催する。	JR端岡駅から琴平高灯籠までの25kmを歩く 参加者 116人(4月29日に実施)	参加者116人	2	参加者へのアンケート結果に基づき、26年度から歩行距離を短縮し実施しているが、ここ数年、参加者は減少傾向となっている。	27年度をもって廃止となった。	スポーツ振興課
47	I	1	(4)	高松スポーツカーニバル	市	広く市民にスポーツ活動への参加を促し、健康増進と体力向上、スポーツ施設への利用促進を図る。	JR端岡駅から琴平高灯籠までの25kmを歩く(こんびら健脚大会)	参加者5,387人	3	例年実施している泳ぐ教室について、施設修繕による臨時閉館に伴い、参加者数の減少に繋がった。	仏生山公園等で歩く、踏む、走る、泳ぐ、投げる、体験するをコンセプトに実施する。	
48	I	1	(4)	体育の日 スポーツ施設無料開放事業	市	体育の日にスポーツ施設を無料開放し、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供する。	有人施設を無料開放し、各競技団体に体験教室を実施してもらい、スポーツに親しむ機会を提供する。	参加者1,394人	2	プールの修繕による臨時閉館に伴い、人気の高いスイミングの参加者数が減少となった。	有人施設を無料開放し、各競技団体に体験教室を実施してもらい、スポーツに親しむ機会を提供する。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
49	I	1	(4)	市民登山学校	市	健康維持、自然保護の啓発、登山知識・技術を習熟するため。講座を実技を開催する。	月1回の講座と実技を実施する。	延べ参加者数700人	3	概ね例年どおりの参加者数であるが登山ブームの中、参加増に至っていないため、周知方法等について改善が必要と考える。	月1回の講座と実技を実施する。	スポーツ振興課
50	I	1	(4)	地域密着型トップスポーツチーム交流・連携事業(再掲)(No.17B)					選択してください			
51	I	2	(1)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児及び保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 19か所 週6~7日開設 7,948千円×3か所 週5日開設 7,453千円×14か所 小規模型 2,598千円×2か所 (利用者支援事業5日型 6,732千円×1か所)	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 19か所 週6~7日開設 7,948千円×3か所 週5日開設 7,453千円×14か所 小規模型 2,598千円×2か所 (利用者支援事業5日型 6,732千円×1か所)	5	事業を実施した箇所数が設定した数値に達したため	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 19か所 週6~7日開設 8,317千円×1か所 週5日開設 7,803千円×17か所 小規模型 2,694千円×1か所 (利用者支援事業5日型 7,066千円×1か所)	こども園運営課
52	I	2	(1)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児および保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設 7,948千円×1か所 週5日開設 7,453千円×8か所 加算事業 1,361千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川保健センター内 2,548千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 5,840千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,453千円×1か所 子ども・子育て支援交付金事業	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設 7,948千円×1か所 週5日開設 7,453千円×8か所 加算事業 1,361千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川保健センター内 2,503千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 5,813千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,453千円×1か所 子ども・子育て支援交付金事業	4	子育て支援拠点事業に加え、利用者支援事業についても利用者は年々増加しており、子育て中の親の不安解消に大いに貢献している事業である。	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設8,317千円×2か所 週5日開設7,803千円×7か所 加算事業 1,398千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川保健センター内 2,591千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 6,091千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,803千円×1か所 子ども・子育て支援交付金事業	子育て支援課
53	I	2	(1)	地域子育て推進事業	市(委託、直営)	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所等を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。	私立保育所 19か所(委託料500千円/か所) 市立保育所 24か所(直営) 合計43か所で実施	私立保育所及び認定こども園 17か所(委託料500千円/か所) 市立保育所 24か所(直営) 合計41か所で実施	4	事業を実施した箇所数が設定した数値に達しなかったため	私立保育所及び認定こども園 18か所(委託料500千円/か所) 市立保育所 24か所(直営) 合計42か所で実施	こども園運営課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名	
	I	2	(1)										
54	I	2	(1)	はじめてのパパママ教室	市	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行う。	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行う。	日曜日コース12回、平日コース3回実施し、平日男性324人、女性326人、合計649人の出席者があった。この教室はパパとなる男性に対して父親の役割や準備、沐浴や着替え等を実習を行うものであるため、参加した方は、実際の実習や体験により、「これから父親になるための準備ができた」「これから妻を手伝おうと思う」等の声が多くあった。	4	申込日当日は電話が殺到し、定員数が申込初日で埋まってしまうほど好評であったため、今後は回数を増やす予定である。	日曜日コース(桜町12回、地区4回)平日コース4回、合計20回の実施予定である。今後もこの教室により、父親の育児参加の促進を勧めていく。平成29年度以降は、各総合センター(仮称)での実施を予定している。	保健センター	
55	I	2	(1)	子育て力向上応援講座	市	就学時健康診断等の機会を活用し、就学前児童の保護者を対象に、家庭教育の専門家等による講座を開催する。	市立小学校(就学時健康診断):48講座 市立小学校(入学説明会他):48講座 市立幼稚園:30講座 私立幼稚園、市民グループ:13講座	市立小学校(就学時健康診断):48講座 市立小学校(入学説明会他):48講座 市立幼稚園・こども園:28講座 私立幼稚園、市民グループ:2講座	4	市立の小学校、こども園、幼稚園に関しては計画通り講座開催となったが、市民グループが減ったため講座開催数が減少した。また、私立の幼稚園での開催も伸びなかった。	市立小学校(就学時健康診断):48講座 市立小学校(入学説明会他):48講座 市立幼稚園・こども園:30講座 私立幼稚園、市民グループ:5講座	市立小学校(就学時健康診断):48講座 市立小学校(入学説明会他):48講座 市立幼稚園、市民グループ:5講座	
56	I	2	(1)	家庭教育講演会	市	次代を担う子どもたちの健全育成、家庭教育力の向上のため、保護者を対象に専門講師による講演会を開催する。	開催日:平成27年10月24日(土) 場所:生涯学習センター 講師:徳倉康弘 演題:「父親であることを楽しんでますか(仮題)」	平成27年10月24日(土) 場所:生涯学習センター 講師:徳倉 康之氏 演題:「笑っている父親が社会を変える～父親と子どもの関わり方から～」 参加者数:120人	4	予定通り実施でき、参加者は共催の市P連の協力もあり、少しではあるが増やすことができた。	平成28年10月22日(土) 場所:生涯学習センター 講師:山田 亮氏(家事ジャーナリスト) 演題:「楽家事でこう～きつと毎日が楽しくなる～(仮)」	生涯学習課	
57	I IV	2 1	(1) (1)	家庭教育情報テレビ事業	市	7月の家庭教育月間に高松ケーブルテレビ「ホットライン高松」において、家庭教育・子育てに関する情報を放映する。	放送期間:平成27年7月1日～15日 講師:太田 貴勝氏(日本赤十字社 香川県支部) テーマ:「災害に備えた家庭教育(仮)」	放送期間:平成27年7月1日～15日 講師:太田 貴勝氏(日本赤十字社 香川県支部) テーマ:「話し合おう。わが家の防災対策」	4	予定通り実施できた。	放送期間:平成28年7月1日～15日 講師:清國 祐二氏(香川大学生涯学習教育研究センター) テーマ:「家庭教育入門講座～大切なルール作り～(仮)」		
58	I	2	(1)	家庭教育学級	市	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図る。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数29,100人を目指す。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数23,211人であった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数29,700人を目指す。	生涯学習センター	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
59	I	2	(1)	ブックスタート事業	市	4か月児相談の機会を活用し、絵本パックの贈呈、その利用方法と効用を説明し、楽しい子育て、読書への動機付けを図る。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センター等で実施している4ヶ月相談時に絵本パックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図る。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センターほか各地域コミュニティセンター等で実施している4ヶ月相談時に絵本パックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図った。	4	保健センターとの連携により、目標値95%に対し93%の実績となり、着実な成果として表れている。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センターほか各地域コミュニティセンター等で実施している4ヶ月相談時に絵本パックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図る。	中央図書館
60	I	2	(2)	保育所・幼稚園への出前食育事業	市	保育所・幼稚園等において、子どもたちや保護者に講話やエプロンシアター・紙芝居等を実施し、幼児期からの正しい食習慣づくりを支援する。	15か所で開催	市立保育所 4か所 市立幼稚園 6か所 市こども園 2か所 合計12か所で開催	4	事業を実施した箇所数が設定した数値に達しなかったため	15か所で開催	こども園運営課
61	I	2	(2)	フードスタート運動	市	授乳期・離乳期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配布を行う。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料を配付する。また、紙芝居や絵本など食育媒体を使用して更なる食育の啓発を行う。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配付を行った。また、食育媒体を使用して更なる食育の啓発を行う。273回 3,158人(4か月児相談者のみ)	3	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、「食」について周知・啓発を行ったが、出生数が減少するに伴って、回数や対象者数も減少している。食育への関心を高めるための重要な事業であり、より効果的な啓発方法を検討していく。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料を配付する。また、新たな食育媒体を使用して更なる食育の啓発を行う。	保健センター
62	I	2	(2)	早寝早起き朝ごはん運動普及啓発事業	市	子どもの基本的な生活習慣の定着を図るため、就学時健康診断等の機会を活用し、啓発チラシの配布・説明等を行う。	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	3	計画通り事業は実施できたが、平成27年度全国学力・学習状況調査結果(小学6年生・中学3年生対象)によると、香川県は朝食を毎日食べている割合が、全国平均より低い数値になっている。また、毎日同じくらいの時刻に寝ているかの質問に中学生は全国平均より上回ったものの、小学生は下回っているため。	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	生涯学習課
63	I IV	2 1	(3) (3)	消費生活相談事業	市	市民からの消費生活全般の苦情や問合せに対応し、問題解決のための支援を行う。	消費生活専門相談員4名体制で相談事業実施	相談件数:2,137件	5	相談件数は昨年度より増加しながら、高い問題解決率を保っている。	消費生活専門相談員4名体制で相談事業実施	くらし安全安心課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	2	(3)									
64	I	2	(3)	子育て相談事業	市	子育てに関する多種多様な相談に、専門の相談員が指導・助言・情報提供などを行う。	相談員 1人 相談時間 月曜日～金曜日 9時～16時	月曜日から金曜日 9時～16時 年間相談件数207件	4	保育士の資格を持つ職員が、子育てに不安を抱いている保護者に対して、専門的な立場から助言や情報提供をすることにより、子どもたちの置かれている環境が改善するだけでなく、虐待の未然防止につながっている。	これまでと同様に、保育士の資格を持った職員が、専門的な視点から、子育てに不安を持つ保護者の相談に対し、助言や情報提供を行う。	子ども女性相談室
65	I	2	(3)	乳幼児相談・育児相談事業	市	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行った。 540回、6,879人	3	出生数が減少するに伴って、相談件数も減っている。行政機関以外にも、様々な相談機関が増え、ニーズが多様化していることや地域行政組織再編計画に伴い、今後相談事業の在り方を見直している。	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。特に、相談支援の必要な家庭、児に対してよりきめ細やかな関わりを持ち支援を継続する。また、NPO法人など子育て支援団体と連携を密にする。	保健センター
66	I	2	(3)	「いじめ110番」電話相談事業	市	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。 月～金8:30～19:00	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童生徒、保護者からの相談に対応する。 月～金 8:30～19:00	5	いじめ相談には児童生徒や保護者等の声に耳を傾けるとともに、学校と連携して、早期発見、早期対応をすることができた。	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童生徒、保護者からの相談に対応する。 月～金 8:30～19:00	学校教育課
67	I	2	(3)	こどもスマイルテレホン事業	市	家庭問題・不登校・非行やいじめ等、子どもに関する悩みの相談窓口として「こどもスマイルテレフォン」を開設する。	相談件数 58件	相談件数 51件	5	それぞれの悩みについて、相談窓口としての対応ができた。	相談件数 58件	少年育成センター
68	I	2	(3)	不登校等に関するカウンセラーによる教育相談事業	市(委託、直営)	適応指導教室の児童生徒をはじめ、不登校および不登校傾向の児童生徒やその保護者に対して、継続的な相談活動を行う。	カウンセラー等による相談の機会をさらに広げ、相談体制を充実させる。	カウンセラーによる相談の機会を増やし、充実させたことで、目標を上回る実績を得ることができた。	4	目標を上回る実績を得ることができた。	カウンセラー等による相談の機会をさらに広げ、相談体制を充実させる。	総合教育センター
69	I	2	(3)	地域子育て支援拠点事業(再掲) (No. 51、52)					選択していただきます。			子育て支援課 こども園運営課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
70	1	2	(3)	地域子育て推進事業(再掲) (No. 53)					選択してください			
71	1	2	(3)	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業(再掲) (No. 89)					選択してください			子ども園運営課
72	Ⅲ	2	(3)	少年相談員養成事業(再掲) (No. 200)					選択してください			少年養成センター
73	I Ⅲ	3 2	(1) (2)	年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業	市	次代の親づくりとして、命の大切さや家庭の役割等について理解を深めるため、年長児童が乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を開設する。	中学生(7校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんのかかわり方などの学習および抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 対象校を7校選定し、子育て支援団体に委託し、実施する。	事業希望のあった中学校7校の学年団全クラスの中学生を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、体験学習を行った。 近隣の子育て支援団体に委託した上で、実施した。	4	平成23年度から開始し、毎年事業内容の拡充が続いている。子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりへの貢献度は大きく、次代の親づくりを促進するとともに少子化対策にも効果的な事業である。	中学生(9校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんのかかわり方などの学習及び抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 子育て支援団体に委託し、実施することとしているが、希望校が増加する中、実施団体に限るがあるため、団体数増を目指す。	子育て支援課
74	I	3	(1)	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業	市(委託)	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	5	設定した目標を達成している	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	子ども園運営課
75	I	3	(1)	学校巡回芸術・能楽教室	公益財団法人高松市文化芸術財団(委託)	市内の小中学生を対象に、生の芸術鑑賞・体験の機会として、日舞・洋楽、古典芸能等を巡回公演する。	平成27年度においても歌、洋楽、邦楽、雅楽、バレエ等の鑑賞の機会を提供する。 能楽教室も、能楽・狂言・囃子教室を開催する。	芸術教室 21校12,283人 能楽教室 6校1,555人が鑑賞した。	4	アンケートをとった学校から、次回も実施したいという意見をいただき、公演に満足していただいたため。	平成28年度においては、歌、洋楽、雅楽、バレエ、影絵劇等の生の優良な鑑賞の機会を提供する。 能楽教室では、能楽・狂言・囃子教室を開催する。	文化芸術振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
76	I	3	(1)	ものづくりふれあい教室	高松市生活文化協会(委託)	市内の小中学生を対象に、手作りでものづくりにチャレンジする機会を提供し、もの大切さを体験する。	洋裁、和裁、手芸、マスコットと人形の4コース、9メニューで実施する。 洋裁コース・・・コサージュ、かわいい小物入れ、クリスマスマスコット 和裁コース・・・かわいい金魚、お手玉 手芸コース・・・メッセージボトル、スプーンストラップ、ティッシュ入れ マスコット人形コース・・・ウッドビーズ	全23校、32コースを実施した。	4	前年度より、参加者、参加校が増え、毎年継続して申込みをする学校も多く、満足度が高いといえる。	洋裁、和裁、手芸、マスコットと人形の4コース、9メニューで実施する。 洋裁コース・・・コサージュ、かわいい小物入れ、クリスマスマスコット 和裁コース・・・かわいい金魚、お手玉 手芸コース・・・メッセージボトル、スプーンストラップ、ティッシュ入れ マスコット人形コース・・・ウッドビーズ	文化芸術振興課
77	I	3	(1)	美術館学習	市	子どもたちが豊かな感性と未来の鑑賞者としての資質を育むため、美術館での鑑賞・施設学習を実施する。	改修工事のため未実施	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	従来の美術館学習に加えて、こども未来館学習との連携により、実施参加校20校を予定。	美術館美術課
78	I	3	(1) (3)	総合的な学習の時間活性化推進事業	総合的な学習の時間活性化推進事業実施校(補助)	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	総合的な学習の時間の活性化を図るために、地域の人材を積極的に活用し、児童生徒の体験活動の充実を図った。 外部人材の平均活用人数:小中一校当たり128.3人	4	総合的な学習の時間の活性化を図るために、予算内で地域の人材を積極的に活用した。 学習内容に合わせて、より有効に活用するために、改善の余地がある。また、学校間で活用に差がある。	総合的な学習の時間の活性化を図るために、地域の人材を積極的に活用し、児童生徒の体験活動の充実を図る。	
79	I	3	(1)	子ども環境学習交流事業	市	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化が図れた。	5	高松市立の小・中学校が基本的に隔年で参加している。参加した小・中学校の児童生徒及び教員・保護者は、他校の取組みを聞いたり、南部クリーンセンターの施設を見学したりすることで、環境への意識が向上した。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小・中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	学校教育課
80	I	3	(1)	水資源教育推進事業	市(県補助)	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地巡りの旅」を実施する。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地巡りの旅」を実施する。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地巡りの旅」を実施した。	5	「香川用水の水源地巡りの旅」当日の活動だけでなく、事前・事後の学習を行っており、本事業を通して、香川用水・水資源の重要性について生徒の意識が向上した。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地巡りの旅」を実施する。	
81	I	3	(1)	職場体験学習	小中学校	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	5	児童生徒は、職場体験学習を通して、働くことの楽しさとともに大変さを実感することができ、職場体験発表会では、その思いを発表資料にまとめ、下級生に伝えることもできた。	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
82	I	3	(1)	学校教育における食育推進事業	市	学校給食を中心とした食育の取組みを紹介し、食の現状と課題への理解を深めるための「食育セミナー」を開催する。	高松市朝日新町学校給食センターで年3回(7月、11月、3月)実施予定。	高松市朝日新町学校給食センターで年3回(7月、11月、3月)実施。(7月21組、11月13組、3月8組参加)	5	調理場見学、収穫体験、料理教室を実施することで、食育について理解の醸成を図り、食育推進することができた。	高松市朝日新町学校給食センターで年4回(7月、8月、11月、3月)実施予定。	保健体育課
83	I	3	(1)	サンクリスタル学習	市	小学校中高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	小学校中・高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館での体験学習を実施する。	小学校中高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施した。(H27参加者合計 3,064人)	4	サンクリスタル学習は定着しているが、参加校数は近年横ばいであるため、更なる参加校数の増加を図る必要がある。	主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	歴史資料館 菊池寛記念館 中央図書館
84	I	3	(1)	交通安全教室(再掲) (No.108)					選択し たとき は			くらし安全安心課
85	I	3	(2)	みんなで人権を考える会	市、高松市人権教育推進協議会人権尊重都市たかまつ市民会議(共催)	人権意識の普及・高揚を図るため、幼児児童生徒・保護者・社会教育団体等による人形劇・合唱の発表などを行う「みんなで人権を考える会」を開催する。	「みんなで人権を考える会2015」を高松テルサで開催する。	平成28年7月26日「みんなで人権を考える会2015」を高松テルサで開催し、600名の参加者があった。(出演団体)瀬戸内保育所・扇町保育所・鶴尾小学校・庵治小学校・庵治第二小学校・浅野小学校・高松桜井高校・合唱団ミュージックウェイ	4	出演団体や内容を工夫し、参加者を増やす取組が必要である。	「みんなで人権を考える会2016」をサンポート高松 大ホールで開催する。	人権教育課
86	I	3	(2)	人権教育研修	市	様々な人権問題の解決を図るため、幼稚園・小中学校ごとにPTAを対象とした人権・同和教育に関する講演会等を開催する。	5市こども園、25市立幼稚園、48小学校、23中学校で開催	5市こども園・25市立幼稚園・48小学校・23中学校・1高等学校で開催。延べ23,138名参加	4	すべての市立幼稚園・小中学校・高等学校において開催できた。	5市こども園・25市立幼稚園・48小学校・23中学校・1高等学校で開催。	
87	I	3	(3)	消費生活教育出前講座	市	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマとした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物をテーマとした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	実施回数:4回	3	事業実施後の感想文等から理解度や満足度が高かったことが確認されたが、実施回数は昨年度を下回った。	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物をテーマにした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	くらし安全安心課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
88	I	3	(3)	放課後子ども教室	市	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の人々の参画のもと、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。	35校区において実施。	放課後子ども教室を、34校区において実施した。	4	平成27年度は校区の統合により1校区減ったものの、新たに3校区開設するなど、実施校区数を毎年増やしており、放課後における子ども健全育成に貢献している。	新たに3校区での開設を目指す。	子育て支援課
	4	(3)										
	1	(3)										
89	I	3	(3)	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業	市	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施するとともに、安心して参加できるような環境整備を行う。	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施した。(園庭開放・子育て相談・ふれあい広場・体験入園・ふれあい運動会など)	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施した。(園庭開放・子育て相談・ふれあい広場・体験入園・ふれあい運動会など)	5	設定した目標を達成している。	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施するとともに、安心して参加できるような環境整備を行う。	こども園運営課
	2	(3)										
90	I	3	(3)	子ども動物愛護教室	市	子どもの頃から動物の正しい飼い方・接し方を身につけるため、夏休み中に放課後児童クラブ等において、クイズやゲームを用いた動物愛護教室を実施する。	放課後児童クラブへの出向に加えて、親子向けの教室も開催し、動物の正しい飼い方や接し方、動物愛護について普及啓発を実施する。	放課後児童クラブの小学生を対象とし、動物愛護教室を出前開催した。また、夏休み自由研究のテーマとしてとりあげられるよう、夏休み親子教室を開催し、動物のふれあいを通して、動物愛護を啓発した。実施回数:18回 受講人数:677人	5	夏休みが少なくなり、出前教室の開催数が減少したが、新たに動物のふれあいを通じての教室を開催し、より受講者が取り組みやすい内容を目指した。	夏休み親子教室は動物愛護の応募者が予測を超えてかなりの数があったこと、また、本当の動物のふれあいを通しての学習であるため、伝わりやすいことなどから、本年度については、開催数を増やす予定である。	生活衛生課
	4	(3)										
91	I	3	(3)	学校体育施設開放事業	市	市内全小学校体育施設(自主管理方式)と中学校は指定校方式で、学校体育施設の開放を行う。	市民の体力づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する、身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行うとともに、中学校体育施設の開放事業のうち、体育館については利用率が高く飽和状態にあることから、新規の体育館等開放校数の拡大を図る。	利用者数46,438人	4	市内中心地の中学校体育館の修繕工事が終了し、利用再開に伴い利用者が増加。	市民の体力づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する、身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行うとともに、中学校体育施設の開放事業のうち、体育館については利用率が高く飽和状態にあることから、新規の体育館等開放校数の拡大を図る。	スポーツ振興課
92	I	3	(3)	スマイルあいさつ運動	市	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	5	高松市内の全小・中学校で実施された。この活動を通して、地域の方は地域をあげて児童生徒の健やかな成長のために取り組む必要性を再認識した。学校や児童・生徒は地域の方と挨拶を通して触れ合うことで、地域の方に見守られているということを実感することができた。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校教育課
	1	(3)										

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
93	I	3	(3)	学校評議員制度推進事業	市	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	学校評議員会を設置することで、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開することができた。	5	地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開することができたため。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	学校教育課
94	I	3	(3)	中学校運動部活動講師派遣事業	市	運動部活動のうち、技能の取得過程で危険を伴う競技(柔道・剣道・なぎなた)を対象に、専門性等に優れた外部指導者を派遣する。	武道部活動の指導ができる教員がいない学校からの希望に対し、高い専門性と優れた人間性を有する指導者を講師として委嘱・派遣する。	外部指導者について、柔道4人、剣道7人、なぎなた1人を11校に派遣した。	5	講師派遣希望があった全学校に講師を委嘱・派遣し、生徒への技術的な面や精神的な面での指導、並びに部活動担当教員に対して指導方法等の助言ができた。	武道部活動の指導ができる教員がいない学校からの希望に対し、高い専門性と優れた人間性を有する指導者を講師として委嘱・派遣する。	保健体育課
95	I	3	(3)	青色パトロールによる巡回強化事業	市	視認性の高い青色回転灯を広報車に整備し、児童・生徒の安全確保を図るため、登下校時等に巡回活動を実施する。	青色回転灯付き公用車による巡回回数 580回	青色回転灯付き公用車による巡回回数 821回	5	通常ルートの登下校時の巡回活動はもとより、危険性・緊急性の高い事案の発生した地域には臨時に巡回活動を実施した。	青色回転灯付き公用車による巡回回数 750回	少年育成センター
96	I	3	(3)	総合的な学習の時間活性化推進事業(再掲) (No. 78)						選択してください		学校教育課
97	I	3	(3)	P.T.A地域活動促進事業(再掲) (No. 189)						選択してください		生涯学習課
98	I	4	(1)	高松市民大学・屋島カレッジ事業	高松大学生涯学習教育センターと共催	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催する。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数1,150人を目指す。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数845人であった。	3	講座参加人数が目標に達しなかった。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数1,170人を目指す。	生涯学習センター
99	I	4	(1)	センター利用促進事業	市	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催する。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,800人を目指す。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数1,860人であった。	3	講座参加人数が目標に達しなかった。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,800人を目指す。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	4	(1)									
100	I	4	(1)	まなびCAN・CSR教室	市	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催する。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数785人を目指す。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数1,012人であった。	5	講座参加人数は、大幅に目標を上回った。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数790人を目指す。	生涯学習センター
101	I	4	(1)	他団体との連携事業	市	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催する。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数315人を目指す。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数912人であった。	5	講座参加人数は、大幅に目標を上回った。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数315人を目指す。	
102	I	4	(1)	遺跡発掘現場等公開事業	市	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果(遺構・遺物)を、現地で速報的に公開する。(毎年2~5回程度、不定期に開催)	鶯羽神社境内遺跡(屋島西町)、稲荷山北端1号墳、栗林田中遺跡、萩前一本木遺跡、屋嶋城跡城門遺構など6遺跡程度で開催が可能と見込まれる。	屋嶋城跡、石清尾山古墳群等で遺跡発掘調査現場の現地説明会を3回実施した。調査成果内容がマスコミ等に大きく取り上げられたことから、関心を持つ多くの市民の参加があり、合計1,170人の参加者を得た。	5	市民が高い関心を持っている遺跡について、調査成果内容を速報的に公開できた。現地説明会には計画を上回る市民の参加があった。	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果を、現地で速報的に公開する(2~5回程度、不定期に開催)	文化財課
103	I	4	(1)	出前(出張)埋蔵文化財事業	市	市内の埋蔵文化財(高松城跡・屋嶋城跡・石清尾山古墳群等)について、学校や市内の各種団体等の依頼により、現地等で説明・周知活動を行う。	高松城跡、屋嶋城跡、石清尾山古墳群等について前年度に引き続いて実施。	市内の埋蔵文化財(高松城跡・屋嶋城跡・石清尾山古墳群等)について、学校や市内の各種団体等の依頼により、現地を含め延べ82か所で実施し、3,692人の参加を得た。	5	学校や市内の各種団体等の依頼により、現地等で説明を行い、計画を上回る市民の参加があった。	市内の埋蔵文化財(高松城跡・屋嶋城跡・石清尾山古墳群等)について、前年度に引き続いて実施する。	文化財課
104	I	4	(1)	文学探訪事業	実行委員会(補助)	県内・近県の文学館や文学ゆかりの地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施する。	中四国を中心とした文学にゆかりのある地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施する。	10月26日に夏目漱石「坊っちゃん」ゆかりの地、松山市の子規記念博物館、萬翠荘、明教館、子規堂などを訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施した。(H27参加者合計 38人)	5	目標が達成され、十分な成果が上がっている。	高知方面の文学にゆかりのある地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を10月中~下旬に募集定員40人の日帰りバスツアーで実施する。	菊池寛記念館
105	I	4	(1)	文芸講座	市	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を開催する。	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を開催する。	6月~3月の期間、毎月第2土曜日に、地域文芸の振興を図るため、郷土で活躍する大学教授などを講師に幅広い分野の親しみやすいテーマで文芸講座を10回開催した。(H27参加者合計 742人)	4	成果は上がっているが、受講人数が目標に達していない回があるので、共催の菊池寛顕彰会の協力も得ながら、より多くの市民が参加したくなるような工夫が必要。	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などの文化人を講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座(1回の定員80人)を菊池寛顕彰会と共催で年間10回開催する。	菊池寛記念館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
106	I	4	(1)	ふるさと探訪事業(再掲)(No.41)					選択していただき			文化財課
107	I	4	(2)	節水など水に関する教育	市	「上下水道知ってトーク」を開催し、水環境についての理解と協力・意見交換を図るほか、節水など実践行動につなげるため、コミュニティセンター・学校等に出向き説明を行う。	「水の上手な使い方」や「節水」をテーマとした「上下水道知ってトーク」を実施する。また、イベント等で機会をとらえ、様々な方法で水の有効利用を呼びかけるとともに、節水器具を紹介する。	11回	5	災害時等も含め、節水への意識が高まりっており、目標値を上回り、目標を達成している。	「水の上手な使い方」や「節水」をテーマとした「上下水道知ってトーク」を実施する。また、イベント等で機会をとらえ、様々な方法で水の有効利用を呼びかけるとともに、節水器具を紹介する。	水環境対策室 企業総務課
108	I I I	4 1 3	(2) (1) (1)	交通安全教室	市	市民の交通安全意識の向上を図るため、幼稚園児・小学生のほか高齢者を対象とし、年齢に応じた交通安全教室を実施する。	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を引き続き実施する。	実施回数:1,392回	5	高齢者運転免許証返納促進事業について、申請時に高齢者交通安全読本による意識づけ教室を行っているが、その件数が昨年度より増加したため。	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を引き続き実施する。	くらし安全安心課
109	I	4	(2)	市政出前ふれあいトーク事業	市	市政の仕組みや取り組んでいる事業・施策、今後の検討課題等について、設定テーマに応じて、出向き説明および情報提供・意見交換を行う。	市政出前ふれあいトークのPR・受付業務	広報たかまつを始め、本市ホームページやプレスリリースなどを活用し、効果的にPRを行った。	4	実施回数が、目標値を上回ることができた。	市政出前ふれあいトークのPR・受付業務	広報広報課
110	I	4	(2)	市場DE自由研究事業	市中央卸売市場運営協議会	市場見学等により、生鮮食料品等に触れる機会の提供、市場の機能や流通システム等について学習する。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施。	青果部、水産物部、花き部について親子2人1組で、毎回15組ずつ募集し、各部2回ずつ、合計6回実施した。毎回、約2倍の応募があり、抽選となった。	5	毎回多数の応募をいただき、抽選を行っている。夏休みの自由研究が完成するように、視覚・嗅覚・触覚・味覚で感じ取れる体験型の内容に務めており、アンケートでも満足度が高い。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施予定。	中央卸売市場業務課
111	I	4	(2)	自主防災組織等育成(資機材助成・自主防災力強化・自主防災訓練支援のための非常食品の助成)事業	地域コミュニティ協議会 自主防災組織(補助)	大規模災害時の防災活動に対応できるよう、コミュニティ協議会等と連携し、包括的自主防災組織を結成するほか、地域の実践的な防災訓練に使用する非常食品の助成などの支援・経費補助を行う。	大規模災害時の防災活動に対応できるよう、コミュニティ協議会等と連携し、地区・校区での地域の実践的な防災訓練に非常食品の助成などの支援を行う。	地域の実践的訓練に使用する非常食品を44コミュニティ中36コミュニティに助成した。又、全ての防災訓練に支援を行った。	4	地域の実践的な防災訓練に使用する非常食品の助成を100%を目指したが、82%と一定の助成はおこなかった。	地域の実践的な防災訓練に使用する非常食品を全てのコミュニティに助成するなどの支援を行う。	予防課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
112	I	4	(2)	早明浦ダム周辺ボランティア清掃事業	市	水源地への感謝を表し水源地域との交流を図るため、毎年11月の湖畔マラソン前にダム周辺の清掃活動を実施する。	11月に、早明浦ダムで開催される湖畔マラソンのコースとなる道路の清掃を実施。参加者は、上下水道局広報紙「みんなの水」等で募集。事業費はバス賃借料等。 地元水源地については、地元団体の清掃実施に合わせ、実施予定。	早明浦ダム周辺ボランティア清掃は、11月に実施し、公募市民61名を含む140名が参加した。地元水源地清掃については、11月に坂瀬池の清掃を行った。	5	公募参加者数が公募応募人数を大幅に超えており、目標を十分に達成している。	11月に、早明浦ダムで開催される湖畔マラソンのコースとなる道路の清掃を実施。参加者は、上下水道局広報紙「みんなの水」等で募集。事業費はバス賃借料等。 地元水源地については、地元団体の清掃実施に合わせ、実施予定。	企業総務課
	II	2	(1)									
113	I	4	(2)	家庭・地域の教育 力向上推進事業 (再掲) (No. 175)					適当 してください			生涯学習課
114	I	4	(3)	児童館事業	市	子どもの遊びの拠点・居場所として、遊びや生活を通して子どもの発達の増進を図るほか、子育て家庭への相談・援助、交流の場の提供等を行う。	利用人数 55,000人	利用人数 66,842人	5	目標値を大幅に上回っており、児童の健全育成と、子育て中の保護者の居場所づくりなどに貢献している。	利用人数 55,000人	子育て支援課
115	I	4	(3)	子どもわくわく体験支援事業	実施団体 (補助)	子どもの創造力や積極性・社会性を育む機会として、市内の自然・歴史・町並み等を活用した体験活動を実施する団体等への助成を行う。	団体数・・・5団体	団体数・・・4団体 参加人数・・・ ①ドングリランドの竹で作るガールスカウト竹細工・第3弾！～竹笛を作る～ ②なわメなわジャンプ！Vol. 6 ③おいおい寺子屋～春の公園で手作り体験～ ④和の食文化を見直そう！『みそ作り』調理体験	4	5団体までの申し込みはなかったものの、昨年度から引き続き活動をしている団体に加えて、新たな団体からの申請もあり、子どもに日常的な環境から離れた体験活動ができる機会を与えることができた。	団体数・・・5団体。 団体が実施するイベントの視察を行う。	
	III	1	(3)									
116	I	4	(3)	新春子どもフェスティバル	市	毎年2月第1日曜日に中央公園を中心に、校区対抗「かるたとり・ドッジボール・すもう大会」、自由参加の創作コーナー等多彩なプログラムで開催する。	開催予定日：平成28年2月7日(日) 場所：高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館 内容：校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか)	開催日：平成28年2月7日(日) 場所：高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館 内容：校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか) 参加人数：6,000人	4	予定通りの開催に至り、例年通りの参加があった。	開催予定日：平成29年2月5日(日) 場所：高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館 内容：校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか)	生涯学習課
	III	1	(3)									
117	I	4	(3)	子ども会フットベースボール大会	市	子ども達がスポーツを通して交流し友情を育む機会として、校区子ども会を対象にフットベースボール大会を開催する。	開催予定日：平成27年9月6日(日) 開催場所：高松市西部運動センター 参加者が増えるよう、各種会等で開催案内を行う。	(評価不可) 雨天のため中止	(評価不可)	(評価不可)	開催予定日：平成28年9月4日(日) 開催場所：高松市西部運動センター	
	III	1	(3)									

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	III	(3)									
118	I	III	4 1 (3)	高松・嶺北子ども交歓会	市	市の水源地である早明浦ダム周辺・嶺北地域の子も達と市の子も達が交流し、水の大切さや有効利用を学び、集団活動を通して友情を育む機会として、交歓会を開催する。	開催予定日:平成27年11月28日~11月29日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	開催日:平成27年11月28日~11月29日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	5	計画通り実施した。	開催予定日:平成28年12月3日~12月4日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	生涯学習課
119	I	III	4 1 (3)	こども農園事業	市(農園主補助)	子どもが生活の中で自然と取組み、土に親しみ植物を育てる喜びと勤労の尊さを体験する機会として、農園主にこども農園事業として助成し、校区の子も会等が活用する。	市内12校区17農園	市内10校区15農園	4	校区、農園とも微量ではあるが増加した。	市内12校区17農園	
120	I	I	4 5 (3)	埋蔵文化財センター体験学習	市	埋蔵文化財への興味・関心を高めるため、四番丁スクエア内の埋蔵文化財センターで、鑄造・瓦製作体験学習を行う。	鑄造・瓦製作体験学習 その他体験学習行事 (夏休み体験学習新規開催予定)	四番丁スクエア内の埋蔵文化財センターにおいて鑄造・瓦製作等の体験学習を実施するとともに、学校や地域の依頼を受けて、出張して体験学習を実施した。 (H27参加者合計 583人)	5	埋蔵文化財センターのみではなく、学校や地域の依頼を受けて、出張して体験学習を実施し、計画を上回る参加者を得た。	鑄造・瓦製作等の体験学習 その他体験学習行事 (夏休み限定の体験学習を実施予定)	文化財課
121	I		4 (3)	香南歴史民俗郷土館工作教室	市	香南歴史民俗郷土館で、夏休みを中心に、郷土の歴史文化を体験する、子ども工作教室を開催する。	H27年度9講座開催予定 企画展関連講座「寺子屋で学ぼうⅠ・寺子屋体験」7/20、「ミニ埴輪を作ろう」7/23、企画展関連講座「寺子屋で学ぼうⅡ・手習草子」7/25、「勾玉を作ろう」7/31、「化石のレプリカを作ろう」8/2、「土笛を作ろう」8/5、企画展関連講座「親子お手玉教室」8/8、「化石のクリーニング」8/9、「土鈴を作ろう」8/14	H27年度9講座開催 「勾玉を作ろう」7/31 「化石のレプリカを作ろう」8/2 「土笛を作ろう」8/7 企画展関連講座「親子お手玉教室」8/8 「化石のクリーニング」8/9 「手習草子(書道教室)」8/11 「土鈴を作ろう」8/12 「ミニ埴輪を作ろう」8/19 企画展関連講座「寺子屋体験」8/20 (H27延べ参加人数 283人)	4	当初、計画変更があったものの例年どおりの回数の講座を行うことができたが、周知の遅れがあり定員割れの講座が数件あった。	H28年度10講座開催予定 「勾玉を作ろう」7/22 「親子お手玉教室」7/23 「化石のレプリカを作ろう」7/24 「手習草子(書道教室)」7/29 「フリーザードフラワー教室」7/30 「土鈴を作ろう」8/2 「土笛を作ろう」8/5 「化石のクリーニング」8/7 「ミニ土偶を作ろう」8/10 企画展関連講座「自動車プラモを作ろう」8/11	香南歴史民俗郷土館
122	I		4 (3)	放課後子ども教室(再掲) (No. 88)					選択し てくださ			子育て支援課
123	I		4 (3)	子ども動物愛護教室(再掲) (No. 90)					選択し てくださ			生活衛生課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	1	2	3									
124	I	4	(9)	親子文化財教室 (再掲) (No. 42)					選択していただき			文化財課
125	I	5	(1)	視聴覚ライブラリー	市	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行った。	5	計画どおり実施した。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	生涯学習センター
126	I	5	(1)	センター利用促進事業(再掲)(No. 99)					選択していただき			
127	I	5	(1)	まなびCAN・CSR教室(再掲)(No. 100)					選択していただき			
128	I	5	(1)	他団体との連携事業(再掲)(No. 101)					選択していただき			
129	I	5	(2)	コミュニティセンター整備事業	市	コミュニティセンターの改築について、現施設の有効活用を基本とした中期整備指針を策定し、これに基づき実施する。	①林コミュニティセンター耐震化改築工事 ②西植田コミュニティセンター耐震補強・改修工事 ③国分寺南部コミュニティセンター附属建物改修工事 ④東植田コミュニティセンター耐震化改築工事 ⑤木太コミュニティセンター耐震化改築実施設計 ⑥太田コミュニティセンター改築基本設計 ⑦川岡コミュニティセンター改築基本設計	①林コミュニティセンター耐震化改築工事 ②西植田コミュニティセンター耐震補強・改修工事 ③国分寺南部コミュニティセンター附属建物改修工事 ④東植田コミュニティセンター建築工事 ⑤木太コミュニティセンター基本設計 ⑥川岡コミュニティセンター改築基本設計 ⑦十河コミュニティセンター周辺整備工事	4	西植田コミュニティセンター耐震補強・改修工事、東植田コミュニティセンター耐震化改築工事、木太コミュニティセンター改築実施設計、川岡コミュニティセンター建設工事基本設計は一部28年度へ繰越したため。	①西植田コミュニティセンター耐震・補強・改修工事 ②東植田コミュニティセンター建築工事 ③木太コミュニティセンター改築実施設計 ④川岡コミュニティセンター改築実施設計 ⑤屋島コミュニティセンター改築基本設計	地域政策課 地域振興課
130	I	5	(2)	コミュニティセンター講座(再掲)(No. 18)					選択していただき			生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	1	5	(2)									
131	1	5	(2)	高齢者教室(再掲) (No. 19)					選択してください			
132	1	5	(2)	女性教室(再掲) (No. 20)					選択してください			
133	1	5	(2)	コミュニティセンター同好会事業(再掲) (No. 170)					選択してください			
134	1	5	(2)	生涯学習推進員養成研修(再掲) (No. 193)					選択してください			生涯学習センター
135	1	5	(2)	コミュニティセンターだよりの発行(再掲) (No. 224)					選択してください			
136	1	5	(2)	コミュニティセンター等パソコン講習会(再掲) (No. 238)					選択してください			
137	1	5	(3)	エコホタルの利用促進事業	市	南部クリーンセンターの施設見学、親子リサイクル工作会、環境パネル・インターネット情報提供を実施する。	・施設見学、体験学習事業(紙すき等) ・施設紹介・分別収集啓発用パンフレットの印刷及び配布 ・夏休み親子工作会予定日:7/21、7/28、7/30、8/7、8/10、8/12 ・夏休み親子見学会予定日:7/22、7/29、7/31(2回)、8/3、8/11	概ね、計画内容どおりに実施、開催した。	4	施設見学者及び利用者は若干増加したが、今後は事業内容の固定化などを検討する必要がある。	・施設見学、体験学習事業(紙すき等) ・施設紹介・分別収集啓発用パンフレットの印刷及び配布 ・夏休み親子工作会予定日:7/21、7/25、8/8、8/9、8/10、8/12 夏休み親子見学会予定日:7/22、8/1(2回)、8/3、8/17、8/18	南部クリーンセンター
138	1	5	(3)	特別展・常設展等展示事業	市	近代絵画や工芸、サブカルチャーなど幅広いジャンルをバランスよく企画し、特別展・常設展を開催する。	市美術館は改修工事のため、市内文化施設にて特別展4展及びリニューアルオープン記念展1展を実施予定。また塩江美術館では特別展7展及び常設展3展を実施予定。	実施回数 特別展12展 常設展3展 参加者数 特別展10,148人 常設展6,096人	4	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	特別展13回、常設展8回の実施を予定。	美術館美術課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	I	IV	(3)									
139	I	5	(3)	瀬戸内アートネットワーク事業	市	近隣美術館との連携を図るため、県内主要美術館で、共通パンフレットの作成、入館割引やスタンプラリーを実施する。	スタンプラリーを実施予定。	スタンプラリー応募者数241名	4	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	スタンプラリーを実施する。	
140	I	5	(3)	子どものアトリエ事業	市	展覧会関連事業として、表現の可能性を楽しんでもらう美術講座「子どものアトリエ」を開催する。	改修工事期間中に前講座として「子どものアトリエ」を実施する。	実施回数10回 参加者数445人	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	こども+(こどもアートスペース)を活用し、「子どものアトリエ」等を実施する。	美術館美術課
141	I	5	(3)	アートで遊ぼう! (鑑賞プログラム)	市	鑑賞教育の充実を図るための鑑賞プログラム「アートで遊ぼう!」を実施し、学芸員とともに美術作品の鑑賞を行う。	改修工事期間中に前講座として「アートで遊ぼう!」を実施する。	実施回数2回 参加者数24人	4	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	「アートで遊ぼう!」を実施する。	
142	I	5	(3)	企画展・常設展等 展示事業	市	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示・企画展・収蔵品展・ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、収蔵品展「れきしに出会うII」、企画展「源平合戦展」、「日本初の医学士-神内由己とその時代」、ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、収蔵品展「れきしに出会うII」、企画展「見たい知りたい屋島の戦い」、「讃岐医人伝-合田求吾から柏原謙益・神内由己まで-」、ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開した。 (H27延べ来館者数 21,283人)	5	展示室を一定期間、休館中の美術館特別展の利用に提供したため、例年より展示回数が減少したが、来館者数は目標値に達したため。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、収蔵品展「高松藩・狩野派」、企画展「心を豊かにするデザイン」、「高松藩校講道館(仮称)」、収蔵品展「奥の坊遺跡(仮称)」、ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	歴史資料館
143	I	5	(3)	文学展事業	実行委員会(補助)	貴重な文学資料を鑑賞し、文学への理解と関心を高める機会として、菊池寛ほか郷土ゆかりの作家等の文学展を開催する。	菊池寛記念館第24回文学展「没後99年 夏目漱石-漱石山房の日々」を開催し、文学への理解と関心を高める機会を提供する。	8月29日～10月4日の会期で第24回文学展「没後99年 夏目漱石-漱石山房の日々」を開催、企画展示や特別行事により文学への理解と関心を高める機会を提供した。芥川賞作家の記念講演会も11月14日に実施した。 (H27参加者数 3,127人)	5	目標が達成され、十分な成果が上がっている。	9月17日～10月16日の会期で第25回文学展「生誕120年記念 宮沢賢治」を開催、企画展示をはじめ特別行事により、文学への理解と関心を高める機会を提供する。直木賞作家による記念講演会も11月18日に開演予定。	菊池寛記念館
144	I	5	(3)	図書館等資料整備 事業	市	図書館サービスの向上、機能強化等を図るため、各種資料(図書・雑誌・新聞・AV資料等)・情報の収集・提供を行う。	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費 (89,212,000円)	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費 (89,210,622円)	5	予算執行率が約100%であり、計画的な執行ができた。	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費 (95,102,000円 分室活性化事業費 750,000円を含む)	中央図書館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
145	I	5	(3)	移動図書館事業	市	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な校外地域88ステーションを巡回し、図書等の貸出サービスを実施する。	移動図書館車3台で、中央図書館、地域館、分館と、直島町2ステーションを含む89ステーションに巡回サービスを実施。 160,000冊	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な郊外地域87ステーションと瀬戸・高松広域定住自立圏の直島2ステーションを含む89ステーションに巡回サービスを実施した。 142,310冊	4	成果は上がっているが、ステーションの見直しが必要である。	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な郊外地域86ステーションと瀬戸・高松広域定住自立圏の直島2ステーションを含む88ステーションに巡回サービスを実施する。 160,000冊	中央図書館
146	I	5	(3)	高松テルサ文化教養・研修事業(再掲) (No. 13)					選択してください			産業振興課
147	I	6	(3)	埋蔵文化財センター体験学習(再掲) (No. 120)					選択してください			文化財課
148	I	5	(3)	本のソムリエ派遣事業(再掲) (No. 21)					選択してください			中央図書館
149	II	1	(1)	ゆめづくり推進事業	市	地域コミュニティとして、地域課題の解決・改善につながり他地域のモデルとなる事業に補助金を交付する。	事業提案のあった24の地域コミュニティ協議会に対し、補助金を交付する。	団体数・・・24団体	4	事業未実施の2地区が事業を行い、平成27年度末現在で残り2地区が事業未実施となったため。	事業提案のあった22の地域コミュニティ協議会に対し、補助金を交付する。	地域政策課 コミュニティ推進課
150	II	1	(1)	地域コミュニティまちづくり活動支援事業	市	コミュニティプランを策定した地区(校区)に対し、地域コミュニティ組織の運営および事業計画策定の会議等経費を補助金として交付する。	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	
151	II	1	(1)	協働企画提案事業	市民活動団体等	社会的・公益的課題の解決、市民サービス向上のため、市民活動団体等の専門性・先駆性・柔軟性など特性を生かした企画提案を募集する。	課題テーマと自由テーマを合わせて、年2回、企画提案を募集し、書類審査、プレゼンテーション審査を行った上、委託事業・補助事業を実施する。	応募団体数・・・12団体 採択事業数・・・ 課題テーマ[委託]・・・1件 自由テーマ[補助]・・・5件 採択事業・・・ 「個別避難支援計画の策定支援及び要援護者見守り検索機能マップの作成」ほか	3	協働企画提案事業を機に、協働事業に広がりが見られてきたものの、応募団体の固定化や資金確保等が目立ち始めている。提案団体と行政が共に「協働の原則」に立ち返り、協働事業に取り組むことが求められている。	事業の見直しを実施。採択事業を委託2事業とし、提案団体・関係課等での協議を事前・事中・事後に渡り、きめ細かに実施することで、意思疎通と情報共有を図り、協働への理解を深める。また、外部アドバイザーを活用し、計画の軌道修正を行うことによる事業内容のブラッシュアップを行う。協働事業の広がりにつなげることから、審査を受け、最長2年間の継続を認める。	コミュニティ推進課 市民協働推進室

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	II	I	(1)									
152	II	I	(1)	「食育」で心と体いきいき事業	各種団体(委託)	地域の食育を推進するため、各種団体から事業提案を募集し、採択事業を委託実施する。	平成19年度から実施している事業であり、平成26年度まで、延べ75団体が地域に根差した食育活動の推進を実施してきた。更なる食育の推進を図るために、平成26年度をもって終了し、他事業へ展開する。	(評価不可) 廃止のため	(評価不可)	(評価不可)		保健センター
153	II	I	(2)	観光ボランティアガイド事業	市観光ボランティアガイド協会(補助)	観光客等の利便を図るため、市内の歴史・文化・自然・物産などを紹介するボランティアガイドを育成する。	市内(屋島山上・玉藻公園内・サンポート高松)3か所で、ボランティアガイド事業を実施。 会員の高齢化が年々問題化されているので、ガイド事業を継続するためにも後継者の育成に力を入れて取り組むこと。	新人会員の育成については、今年度は例年以上に多い20名近くの加入があり、ベテラン会員との意見交換会を設け、相談事や今後の方針について新しい意見を聞きとった。新人会員の中には、以前に退会していた会員の復帰や、28年度になり他の部会を兼務するなど、積極的にガイドする会員が育ち、会員の中での積極性が感じられた。	4	新規ガイドの加入により、当初の計画を概ね達成できた。	市内(屋島山上・玉藻公園内・サンポート高松)3か所で、ボランティアガイド事業を実施。 会員の高齢化が年々問題化されているので、ガイド事業を継続するためにも後継者の育成に力を入れて取り組むこと。	観光交流課
154	II	I	(2)	美術館ボランティア事業	市	市民の美術活動の支援と展覧会鑑賞者の利便性を図るため、美術館ボランティアを設置する。	改修工事期間中に実施する特別展及びオープン記念展でギャラリートークを実施する。	実施回数14回 参加者数107人	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	開催特別展のギャラリートークを実施する。	美術館美術課
155	II	I	(2)	市民の学習成果発表の場提供事業	市	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を開催する。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を10講座開催する。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を18講座開催した。	5	講座回数は、大幅に目標を上回った。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を10講座開催する。	
156	II	I	(2)	生涯学習センター遊友塾	市	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援する。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数1,020人を目指す。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数601人であった。	3	講座参加人数が目標に達しなかった。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数1,020人を目指す。	生涯学習センター
157	II	I	(2)	まなびCANこども教室	市	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催する。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数560人を目指す。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数222人であった。	3	講座参加人数が目標に達しなかった。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数560人を目指す。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	II	I									
158	II	1 (2)	資料館ボランティア事業	市	歴史資料館サポーターによる支援活動、古文書解説ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解説ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。新規のサポーター数の増加を図る。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解説ボランティアによる収蔵資料解説・データ化を行った。	5	前年度より参加人数が増加しボランティア活動が定着してきている。今後も継続して行っていきたい。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解説ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。新規のサポーター数の増加を図る。	歴史資料館
159	II	1 (2)	よみきかせたいJr.派遣事業(再掲) (No. 201)					選択してください			中央図書館
160	II	2 (1)	市民活動センター事業	市	市民活動センターにおいて、市民活動活性化のため、情報収集・提供、学習・研修、交流・コーディネート、調査・連携、災害時対応など各種事業を実施する。	コトデン瓦町ビル内での市民活動センター学習の場拡充による各種講座の充実。 まちづくり学校との協働による事業を通じた、地域の担い手となる人材育成を行うとともに、各種講座の実施によるスキルアップを図る。	市民活動団体等を対象とした各種講座、助成財団シンポジウム、災害ボランティアセンター運営訓練等を開催。 瓦町市民活動センターを開設し、総利用者が前年度を大きく上回った。 H26年度…3,218人 H27年度…15,213人	4	H27.10月に、市民活動センターサテライト「瓦町市民活動センター」を開設し、市民活動団体等の活動や発表の場の提供等、市民活動団体の活動拠点としての機能拡充が図られ、事業の充実及び利用促進が図られ、市民活動団体の活性化につながった。	市民活動センターを、瓦町FLAGに統合したことにより、更なるセンターの機能強化と、利用促進に向け、各種講座の開催はもとより、相談やコーディネート機能を高めるとともに、市民活動団体の情報収集・調査にも積極的に取り組む。	コミュニティ推進課 市民協働推進室
161	II I	2 1 (1)	市民グループ学習支援事業	市	自発的な学習意欲を持つ市民団体を公募し、女性の資質・能力の向上や家庭教育に関する学習活動を助成する。	・女性教室実施団体数:5団体 ・家庭教育学級実施団体数:6団体	・女性教室実施団体数:2団体 ・家庭教育学級実施団体数:2団体	3	予定していた募集团体数に達しなかったため、2次募集まで行ったが、応募がなく、計画の半分程度になってしまったため。	・女性教室実施団体数:5団体 ・家庭教育学級実施団体数:6団体	生涯学習課
162	II	2 (1)	早明浦ダム周辺ボランティア清掃事業(再掲) (No. 112)					選択してください			企業総務課
163	II	2 (2)	大学等との連携事業	市	行政課題へ迅速かつ的確に対応するため、大学等と包括協定を締結し、多分野・多面的な連携を推進する。	引き続き、本市の行政課題の解決を図るため、金融機関など地域の多様な主体との連携を検討する。	地(知)の拠点整備事業の取組のほか、市長と学長・校長との懇談会を開催し、大学との連携強化を図った。また百十四銀行との連携事業を推進した。	4	更に、多様な主体との連携を拡充し、推進する必要がある。	引き続き、本市の行政課題の解決等を図るため、大学や金融機関などの地域の多様な主体との連携を推進する必要がある。	政策課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	II	2	(2)									
164	II	2	(2)	シルバー人材センター事業	(公社)高松市シルバー人材センター(補助)	高松市シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、社会参加と生きがいづくりを促進する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供した。	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっている	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供する。	長寿福祉課
165	II	2	(2)	「ため池守り隊」市民活動支援事業	市民活動団体(補助)	自然環境保全のため、非農家も参加し、ため池の清掃活動等を実施する団体に補助金を交付する。	16か所のため池で実施予定。	16か所のため池で実施。	5	地元の活動組織体制が整えば新たな取り組みが実施できる。	16か所のため池で実施予定。	土地改良課
166	II III	2 2	(2) (1)	まちかど漫遊帖事業	高松まちかど漫遊帖実行委員会(補助)	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	リピーターとなっている参加者を確保しているガイドもいる等、一部のガイドの質の向上が見受けられた。しかしながら、ガイド自身が主体性を持っているとは言える状況ではなく、全体的にマンネリ傾向にあると感じられる。	3	参加を毎回楽しみにされているお客様も少なくない点は評価しうが、新しいコースの造成意欲も各ガイドから薄れており、毎回同じ内容のものも見受けられる。各ガイドの意欲向上が求められる。	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	観光交流課
167	II	2	(2)	NPO等の活用による環境学習活動(再掲) (No. 12)					選択してください			環境保全推進課
168	II	2	(2)	知的障がい者青年教室(再掲) (No. 16)					選択してください			生涯学習課
169	III	1	(1)	老人大学事業 高松いきいき	高松市老人クラブ連合会(補助)	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の老人大学を開講する。 高松いきいき	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講する。	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講した。 平成27年5月～平成28年2月 定員165名(各学科55名ずつ)	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっている	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講する。	長寿福祉課
170	III I	1 5	(1) (2)	コミュニティセンター同好会事業	市	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行った。	4	計画どおり実施した。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	III	I	(1)									
171	III	I	(1)	市民登山学校(再掲) (No. 49)					選択していただき			スポーツ振興課
172	III	1	(2)	男女共同参画市民フェスティバル	男女共同参画市民フェスティバル実行委員会(補助)	高松市男女共同参画センター登録団体を中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体を中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月に開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体を中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月に開催した。	5	予定通り事業が実施され、また設定した目標が達成されているため	高松市男女共同参画センター登録団体を中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月に開催する。	男女共同参画推進室
173	III	1	(2)	市民活動団体ネットワーク構築事業	市民活動団体等	各種市民活動団体や教育機関等との交流会の開催など、団体同士のネットワーク構築を図る。	昨年度のふり返りを活かして、市民活動団体をはじめ多くの市民が参加し、ともに作り、つながる「みんなの文化祭」として充実するよう、まちづくり学校との協働を充実させる。	「みんなの文化祭」11月23日(祝)瓦町FLAG 8階 IKODE瓦町全体を活用し、まちづくり学校実行委員会と協働で開催。参加者…約1,200人	4	市民活動団体、地域コミュニティ協議会、IKODE瓦町各ゾーン及びコトデンビルとの連携を図り、より多くの市民が参加し、市民活動団体等の活動にふれる文化祭が開催できた。	まちづくり学校実行委員会を中心に、より市民と市民活動団体等、また市民活動団体同士がふれあい、その後につながりもてるような文化祭を開催する。	コミュニティ推進課 市民協働推進室
174	III	1	(2)	子ども未来ネットワーク会議	市	子育て支援団体等の相互交流・情報交換の場として、部門別会議や座談会を開催し、連携・協働を図る。	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築する部門別会議を開催する。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) ・子育てサークル等(2回) 各種子育て支援事業実施団体が一堂に会し、意見交換できる場を提供するために「子ども未来ネットワーク会議座談会」を開催。(2回)	「部門別会議」 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) 「座談会」1回	3	部門別においては、ほぼ計画通りであったが、子育てサークル部門は参加希望がなかったため開催できず、座談会についても、1回しか開催できなかった。	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築する部門別会議を開催する。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) ・子育てサークル等(2回) 各種子育て支援事業実施団体が一堂に会し、意見交換できる場を提供するために「子ども未来ネットワーク会議座談会」を開催。(2回)	子育て支援課
175	III I IV	1 4 1	(2) (2) (2)	家庭・地域の教育力向上推進事業	市	家庭・地域の教育力向上を図るため結集した協議体を核に、家庭教育・子育て情報の発信のほか、先行事例モデル地域でのワークショップ・座談会、報告会等を開催する。	事業廃止 新規事業:「子どもを中心とした地域交流事業」を展開する。	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	生涯学習課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	III	I									
176	III	I	子どもを中心にした地域交流事業	市	地域で活動する各種団体等が協働することにより、団体の持ち味やネットワークを活かしながら、子ども及び保護者並びに地域の大人が関わる継続的な事業を実施することで、地域の住人が顔見知りになるほか、地域の一体感を醸成するとともに、地域ぐるみで子どもを育む機運を高める。地域交流事業の一環として、通学合宿を併せて実施することができる。	8団体を募集する。	①太田南(白みそあん餅雑煮・しめ縄作り等)②木太北部(折鶴プロジェクト・キャンプ)③鶴尾(じゃがいも掘り・ピザ作り体験等)④栗林(キャンプ・夏休みラジオ体操会等)⑤太田(ラジオ体操・宿題ハウス)⑥国分寺北部(田植え・稲刈り体験・しめ縄作り等)⑦東植田(地域交流キャンプ・通学合宿等)⑧香南(ラジオ体操・クリスマス工作等)	5	子ども、保護者、地域が一つの目標に向かって協力し、交流しながら事業を実施でき、その過程でお互いを思いやる気持ちが育めた。また、子どもの表現力が豊かになり、地域の人に自ら質問など働きかけるようになった。	新規4団体を募集する。H27年度実施8団体には事業を継続してもらうことにより、さらに子どもと地域との交流の輪を広げる。	生涯学習課
177	III	I	掃除教育「ひかひかデー」	市	幼稚園・小学校で、地域の高齢者等から掃除の仕方を学びながら清掃活動・心の教育を行う。	(こども園課・学校教育課)幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行う。	(こども園運営課・学校教育課)こども園・幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行った。こども園・幼稚園100% 小学校100%	5	市内すべてのこども園・幼稚園・小学校において事業を実施し、十分な成果を得ることができた。	(こども園運営課・学校教育課)こども園・幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行う。	こども園運営課 学校教育課
178	III	I	地域密着型トップスポーツチーム交流・連携事業	市	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	481回 31,740人	4	カマタマーレ讃岐がJ2に昇格したことが要因となり、回数・参加数は増加している。	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	スポーツ振興課
179	III	I	放課後子ども教室(再掲) (No. 88)					選択してください			子育て支援課
180	III	I	スマイルあいさつ運動(再掲) (No. 92)					選択してください			学校教育課
181	III	I	新春子どもフェスティバル(再掲) (No. 116)					選択してください			生涯学習課
182	III	I	子ども会フットベースボール大会(再掲) (No. 117)					選択してください			生涯学習課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	1	(3)									
183	Ⅲ	1	(3)	子ども農園事業(再掲) (No. 1.1.9)					選択してください			
184	Ⅲ	1	(3)	子どもわくわく体験支援事業(再掲) (No. 1.1.5)					選択してください			生涯学習課
185	Ⅲ	1	(3)	高松・嶺北子ども交歓会(再掲) (No. 1.1.8)					選択してください			
186	Ⅲ	2	(1)	地域コミュニティ人材養成事業	市	まちづくり活動の中核を担う地域のリーダー養成を目的とした人材養成事業を実施する。	地域コミュニティ人材養成事業 平成28年2月下旬 テーマ、講師 未定	平成28年2月20日(土)開催 講師：慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 特別招聘教授 保井俊之 氏 テーマ：『人口減少下の地域イノベーションの起こし方：「競争」から「協創」へ、「行政のお願いごと」から「自分ごと」へ』	5	参加者の内、地域コミュニティ協議会関係者83名からアンケートを取ったところ、「とても参考になった」又は「参考になった」と答えたものが78名おり、意識の高揚という点に関しては一定の評価を得られたと感じる。	地域コミュニティ人材養成事業 平成29年2月下旬 テーマ、講師 未定	地域政策課 コミュニティ推進課
187	Ⅲ	2	(1)	地域防災リーダー育成セミナー	市	防災に関する基本知識・技能を有する人材育成のため、意欲ある市民を対象に、防災に関する各専門分野の講師によるセミナーを開催する。	7月4日(土)午後、7月11日(土)午後の2日間で、セミナーを開催する。	実施計画のとおり 7月4日(土)、7月11日(土)午後の2日間で開催した。	4	当初の予定通り、滞りなくセミナーを開催することができた。	7月30日(土)午後、8月6日(土)午後の2日間で、セミナーを開催する。	危機管理課
188	Ⅲ	2	(1)	認知症サポーター養成講座	市	認知症高齢者等に対する正しい知識を持ち、地域で認知症高齢者等や家族を支援するサポーターを養成し、安心して暮らせる地域づくりの担い手を増やす。	参加人数 目標は5,000人 ①見守り協定を結ぶ企業に働きかけ参加団体を増やす。 ②講座受講後地域で認知症対策に取り組めるよう、フォローアップ講座を開催する。	認知症サポーター養成人数 6,476人	5	目標人数を上回ったため、目標は達成されている。	参加人数 目標は5,000人 ① 受講者を小・中・高・大学生等の若い世代や見守り協定を結ぶ企業等に拡大し開催する。 ② 講座受講後地域で認知症対策に取り組めるよう、フォローアップ講座を開催する。	地域包括支援センター
189	Ⅲ Ⅰ	2 3	(1) (3)	PTA地域活動促進事業	市	PTA連絡協議会への活動を支援し、子どもの安全の確保のための不審者情報や健全育成情報等のメール配信を支援する。	高松市PTA連絡協議会へ運営事業、メール配信運営事業の補助金の交付	高松市PTA連絡協議会へ運営事業及びメール配信事業の補助金を支出(運営事業：6月、10月・メール配信事業：6月)	4	予定通り助成した。	高松市PTA連絡協議会へ運営事業、メール配信運営事業の補助金の交付	生涯学習課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	III	2	(1)									
190	III	2	(1)	少年団体育成事業	市	校区子ども会育成連絡協議会相互の連携を図り、子ども会活動の充実と子どもの健全育成のため高松市子ども会育成連絡協議会の運営を支援する。	高松市子ども会育成連絡協議会への補助金の交付	協議会へ補助金を支出。	4	予定通り助成した。	高松市子ども会育成連絡協議会への補助金を交付し、支援を行う。	
191	III	2	(1)	青年活動推進事業	市	青年活動の振興を旨とし自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。	青年活動の振興を旨とし自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。また、成人式スタッフ等の参加を通して、市青連の会員数を更に増やしていく。	市青年連絡協議会への運営支援として補助金を交付し、青年活動の振興を図るため、各種会合へ参加した。	4	会員数の増減はなかったが、各種行事、会合へ積極的に参加した。	更なる青年活動の振興を図るため、市青年連絡協議会への助成を行うとともに各種会合へ参加する。	生涯学習課
192	III	2	(1)	指導者のためのセミナー	市	市民と行政との協働によるまちづくりを実現するため、また、市政への市民参画を図る推進するため、生涯学習推進の指導的役割を果たす人材を養成する講座を開催する。	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	
193	III I	2 5	(1) (2)	生涯学習推進員養成研修	市	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催する。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数450人を目指す。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数448人であった。	5	参加人数は、ほぼ計画どおりであった。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数470人を目指す。	生涯学習センター
194	III	2	(1)	地域における人権啓発推進事業(再掲) (No. 25)						選択してください		人権啓発課
195	III	2	(1)	まちかど漫遊帖事業(再掲) (No. 166)						選択してください		観光交流課
196	III IV	2 1	(2) (1)	環境学習・環境教育の推進事業	市	環境ワークショップ、環境学習支援事業、リサイクルアート事業、自然観察体験事業などを実施する。	環境保全推進課分室を活用した環境問題への意識啓発や環境に関する基本的知識の向上を図る環境ワークショップ(館内講座)の実施や環境情報の提供を行うとともに、コミュニティセンター等、地域で実施する環境学習支援事業(出前事業)を実施する。	事業計画に従い、環境ワークショップ(館内講座)環境学習支援事業(出前事業)を実施した。また、瀬戸内海の環境保全について学ぶ磯の観察会などの講座を実施した。	4	多岐に渡る事業を実施しており、瀬戸内海の環境保全について学ぶ講座や自然観察体験事業を実施するなどにより、目標参加人員には達しなかったが、昨年度より大幅に増加した。	環境保全推進課分室を活用した環境問題への意識啓発や環境に関する基本的知識の向上を図る環境ワークショップ(館内講座)の実施や環境情報の提供を行うとともに、コミュニティセンター等、地域で実施する環境学習支援事業(出前事業)を実施する。	環境保全推進課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	III	2	(2)									
197	III	2	(2)	幼年・少年消防クラブの育成	幼少、少年消防クラブ連絡協議会(補助)	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	幼年消防クラブが新たに2クラブ結成された。	4	少年消防クラブの結成が出来なかった。	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	予防課
198	III	2	(2)	子ども会育成指導者養成事業	市	各校区の子ども会リーダー・ジュニアリーダー・育成者を対象に、子ども会活動に必要な実技指導の講習会を開催する。	第1回:新役員講習会 平成27年5月17日(日) 塩江セカンドステージ 第2回:リーダー研修会 平成27年7月18日(土) 高知県香南市「YASU海の駅クラブ」 第3回:ジュニアリーダー研修会 開催日:未定 生涯学習センター 第4回:育成会指導者講習会 開催日:未定 開催場所:未定 第5回:リーダー研修会 開催日:未定 開催場所:未定	第1回:新役員講習会 平成27年5月17日(日) 塩江セカンドステージ 参加者:38名 第2回:リーダー研修会 平成27年9月26日(土) 高知県香南市「YASU海の駅クラブ」 参加者:42名 第3回:育成会指導者講習会 平成27年10月25日(日) 香南アグリム 参加者:24名 第4回:リーダー研修会 平成27年10月31日(土)~11月1日(日) 愛媛県大洲市国立大洲青少年交流の家 参加者:41名	4	無事に実施できた。	第1回:新役員講習会 平成28年5月15日(日) 塩江セカンドステージ 第2回:リーダー研修会 平成28年7月16日(土) 高知県香南市 第3回:ジュニアリーダー養成会 開催日未定 開催場所未定 第4回:リーダー研修会 平成28年10月29日(土)~30日(日) 愛媛県大洲市国立大洲青少年交流の家 第5回:指導者講習会 開催日未定 開催場所未定	生涯学習課
199	III	2	(2)	地域活動促進事業	市	地域における子ども活動の充実・拡大のため、子ども会や育成会が実施する研修会や事業に、専門的な指導・助言を行う指導員を派遣する。	派遣予定時間:30時間 役員講習会のように単位子ども会の役員が集まる場で資料配布するなど、高松市子ども会育成連絡協議会と協力して広報に努める。	派遣時間:10時間 派遣回数:5回	3	派遣予定時間の3割程度しか事業を実施できなかったため。	派遣予定時間:30時間 役員講習会のように単位子ども会の役員が集まる場で資料配布するなど、高松市子ども会育成連絡協議会と協力して広報に努める。また、指導員も高齢化してきているので、新たな指導員の募集活動を行う。	
200	III I	2 2	(2) (3)	少年相談員養成事業	市	子どもの健全育成のため、悩める子ども・保護者等の地域の身近な相談相手として少年相談員の養成講座を開催する。	相談員配置校区数 120人 40校区	相談員配置校区数 118人 37校区	4	相談員の未配置校が、存在している。	相談員配置校区数 120人 40校区	少年育成センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	III	2									
201	III	2 (2)	よみきかせたいJr派遣事業	市	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。継続的に養成講座を開催し、読み聞かせ活動(おはなし会)を充実させる。外部から依頼があれば積極的に実施する。	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施した。継続的に養成講座を開催し、読み聞かせ活動(おはなし会)を充実させた。	4	隊員数は増加しており、図書館内のイベントでも活動している。	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。継続的に養成講座を開催し、読み聞かせ活動(おはなし会)を充実させる。外部から依頼があれば積極的に実施する。	中央図書館
202	III	2 (2)	年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業(再掲)(No. 73)					選択してください			子育て支援課
203	III	2 (2)	成人式式典事業(再掲)(No. 15)					選択してください			生涯学習課
204	III	3 (1)	文書管理体制再構築事業	市	歴史公文書等を適切に保存し、市民の利用に供することができるよう市の文書管理体制の再構築を図る。	(評価不可)(平成27年度以降は公文書館管理運営)	(評価不可)(平成27年度以降は公文書館管理運営)	(評価不可)	(評価不可)(平成27年度以降は公文書館管理運営)	(評価不可)(平成27年度以降は公文書館管理運営)	
205	III	3 (1)	公文書館管理運営	市	歴史公文書等の保存、利用及び調査研究並びに普及啓発を行う施設として公文書館を管理運営する。	国分寺支所(旧国分寺町)及び香南支所(旧香南町)、高松市分歴史公文書等の例年移管。	・国分寺支所(旧国分寺町)の歴史公文書等の移管 ・香川支所(旧香川町)の歴史公文書等の移管(予定していた香南支所を変更) ・高松市分歴史公文書等の例年移管 ・行政資料の受入れ	3	国分寺支所(旧国分寺町)の歴史公文書等の移管については概ね終了したものの、香川支所(旧香川町)については、業務量が想定より多かつたため、終了には至らなかった。また、国分寺支所と香川支所の移管作業を優先的に行ったため、高松市分歴史公文書等の例年移管については、予定どおりに進まなかった。なお、行政資料の受入れについては、寄贈があったため、当初の予想を大きく上回った。	香川支所(旧香川町)及び香南支所(旧香南町)、高松市分歴史公文書等の例年移管。行政資料の受入れ	総務課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	III	3	(1)									
206	III	3	(1)	こども未来館(仮称)整備事業	市	市民文化センター本館跡地に、子どもを主体とした、子どものための施策、事業を実施し、子どもを中心として幅広い世代の人々が交流できる施設として、「こども未来館(仮称)」を整備する。	建設工事、展示物製作、プラネタリウムの設置等を行うとともに、開館に向け、イベント等を実施しながら、スタッフの体制整備や業務マニュアルの作成を行うなど、28年11月の開館に向け準備を進める。	施設整備については、建設工事や展示製作等に着手し、概ね順調に進捗した。 また、ソフト面については、市民活動団体や学生団体等の参加を得てイベントを実施し、プログラム内容の検証やこども未来館のPRを行った。	4	建設工事に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能になったため、事業の一部を28年度に繰り越すこととなったが、出来高は今年度末で60パーセントに達しており、計画どおり28年6月末の竣工を予定している。	工事竣工後、展示物やプラネタリウムの設置等を行うとともに、スタッフの体制整備や業務マニュアルの作成を行うなど、28年11月の開館に向け準備を進める。	こども未来館整備室
207	III	3	(1)	南部地域スポーツ施設整備事業	市	市民スポーツの振興を図るため、「南部地域における特色あるスポーツ施設」として整備する。	実施設計 建設工事	実施設計	3	実施設計の完成に遅れが生じた。	建設工事	
208	III	3	(1)	ヨット競技場再整備事業	市	老朽化施設を改修し、マリンスポーツを通し健康増進・相互交流・利便性の向上、競技選手の育成を図る。	実施設計業務 建設工事	実施設計 建設工事	3	実施設計を取りまとめ、建設工事に着手した。	建設工事	スポーツ振興課
209	III	3	(1)	屋島陸上競技場再整備事業	市	東讃地域で唯一の公認陸上競技場である現施設の老朽度、施設・設備の整備状況等を踏まえ、基本構想・計画に基づき再整備する。	H28中の竣工	建設工事	5	工程どおり進捗できた。	しゅん工	
210	III	3	(1)	美術資料の収集	市	美術品の取得方針に基づき、系統的に美術品を購入する。	日本の現代美術や讃岐漆芸などの作品を収集する。	収集点数10点	5	設定した目標を達成している。	日本の現代美術や香川の工芸などの作品を収集する。	美術館美術課
211	III	3	(1)	資料館資料の収集・調査・研究	市	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行った。	5	資料収集・調査研究・保存管理等が順調に進められたため。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか
212	III	3	(1)	菊池寛遺品整理・収集	市	郷土の偉大な文化人で文壇の隆盛の礎を築いた菊池寛の功績と名誉を顕彰するため、遺品収集・整理等を行う。	菊池寛記念館収蔵資料目録を刊行する。	菊池寛が創設した芥川賞・直木賞等に関する資料の収集、調査研究、保管及び展示を行った。	5	資料収集・調査研究・保管及び展示が順調に進められたため。	菊池寛が創設した芥川賞・直木賞等に関する資料の収集、調査研究、保管及び展示を行う。	菊池寛記念館
213	III	3	(1)	収蔵品システム運営事業(再掲)(No.242)					選択しなかった			歴史資料館ほか

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	III	3	(2)									
214	III	3	(2)	菊池寛およびその作品から学ぶ「寛学」事業	市	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施した。実施率100%	5	市内すべての小・中学校において、実施率が100%であり、児童生徒が生き方を考える契機とすることができる。	・小学校用作品集と中学校用作品集の不足分の配布を行う。 ・作品を読む活動の設定を行う。 ・菊池寛の作品の感想文募集を実施する。 ・朗読劇を出前講座として小学校で実施する。(10校)	学校教育課
215	III	3	(2)	屋島城城門遺構整備事業	市	屋島城城門遺構を復元し、屋島山上の観光資源、古代の歴史を体感できる生涯学習資源として活用できるよう整備する。	屋島城跡城門遺構周辺環境整備工事を実施 屋嶋城跡公開活用のためにARアプリ、整備過程の映像番組の制作 現地説明会開催(1~2回) 整備完成記念式典の開催 その他見学希望団体対応 サンクsgiving屋島学習受入	屋嶋城跡城門遺構の復元整備が終了した。 また、スマートフォンやタブレットを対象に、CGで復元した屋嶋城の城門をAR及びVRで体感できるアプリを製作した。	5	屋嶋城跡城門遺構の復元が完了するとともに、現地において、スマートフォンやタブレットでCGで復元した屋嶋城城門を体感できるようになり、観光資源や生涯学習資源等として活用が可能となつて、新たな屋島の魅力を提供できるようになった。	終了	文化財課
216	III	3	(2)	民具資料活用事業	市	歴史資料館等施設での民具の展示公開、民具の出前展示・体験講座、学校事業での民具活用などを行う。	歴史資料館等施設での民具の展示公開、民具の出前展示・体験講座、学校事業での民具活用などを行う。	歴史資料館ロビー等で民具の展示である「郷土玩具で日本を知る」「昭和の暮らしを体験しよう」「涼を求めて」「えんぎもの展」等を行った。	5	出前講座だけでなく、ロビー展にて民具資料を展示回数を増やした。	歴史資料館等施設での民具の展示公開、民具の出前展示・体験講座、学校での民具活用(貸出し)などを行う。	
217	III	3	(2)	古文書講座	市	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催した。(H27延べ参加人数 401人)	5	例年講座申込者が増加しており、市民への教育普及活動が図られている。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	歴史資料館
218	III	3	(2)	夏休みに郷土高松の歴史を探ろう	市	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷土の歴史をテーマに調査研究できるよう、資料提供や助言等支援する。	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷土の歴史をテーマに調査研究できるよう、資料提供や助言等支援する。	埋蔵文化財センター共同で「城下町を歩いて高松城へ行こう」を開催した。(H27延べ参加人数 46人)	5	夏休みの自由研究として定着してきており、参加者からも好評を得ている。	企画展「心を豊かにするデザイン」と関連して、街歩きワークショップを行い、デザインの歴史等をテーマに調査研究できるようにする。	
219	IV	1	(1)	市ホームページによる情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行う。	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行った。	4	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を適時適切に掲載できた。	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営	広聴広報課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
220	IV	1 (1)	広報たかまつによる情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、毎月1日・15日に「広報たかまつ」を発行する。	「広報たかまつ」の発行(毎月1日・15日)	「広報たかまつ」を、月2回(1日・15日)発行した。	4	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を適時適切に掲載できた。	「広報たかまつ」の発行(毎月1日・15日)	広聴広報課
221	IV	1 (1)	子育て支援総合情報発信事業	市	各種子育て支援情報を集約し、活用しやすい「子育てハンドブック」と最新情報を提供する「子育て支援総合情報サイト」により、積極的な情報提供を図る。	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」10,000部増刷(情報修正含む) 子育て支援総合情報サイトの情報更新、母子健康手帳交付時に配布するほか子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」10,000部増刷(情報修正含む) 子育て支援総合情報サイトの情報更新、母子健康手帳交付時に配布するほか子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営 年間アクセス件数 2,075,433件 月平均アクセス件数 188,675件 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	4	昨年と同様、子育てハンドブックを10,000冊増刷し、ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行と子育て支援総合情報サイト「らっこネット」及びひとり親ウェブサイトの運営管理を行ったため。	○子育て支援総合情報サイト「らっこネット」からのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	子育て支援課
222	IV	1 (1)	公共施設利用総合情報システム事業	市	学校体育施設開放事業、市スポーツ施設の利用者登録・予約管理および利用者への各種情報提供を行う。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業及び利用者への各種情報提供を行う。	計画通り行えた。	5	計画通り行えた。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業及び利用者への各種情報提供を行う。	スポーツ振興課
223	IV	1 (1)	子ども向けホームページ「きっずの森」情報発信事業	市	市内で開催される子ども向け行事や子どもの学習に関する情報を、子ども向けホームページ「きっずの森」にて発信する。	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載(広報たかまつ、児童館イベント等の情報、他課でのイベントなどから抜粋)	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載について、広報たかまつ、他課でのイベントなどから抜粋し、随時更新した	5	幅広くイベントの抜粋をし、内容豊富な子ども向けイベントの掲載ができた。	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載(広報たかまつ、児童館イベント情報、他課でのイベントなどから抜粋)	生涯学習課
224	IV I	1 5 (2)	コミュニティセンターだよりの発行	コミュニティ協議会	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介した。	5	計画どおり実施した。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	IV	1	(1)									
225	IV	1	(1)	まなびCANだより「まなびかんづめ」の発行	市	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行する。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、19ヶ所に配布する。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、新しい配布先を増やし33ヶ所に配布した。	5	計画を上回って実施した。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、19ヶ所に配布する。	生涯学習センター
226	IV	1	(1)	環境学習・環境教育の推進事業(再掲)(No. 196)					選択してください			環境保全推進課
227	IV	1	(1)	多文化共生事業(再掲)(No. 29)					選択してください			都市交流室
228	IV	1	(1)	家庭教育情報テレビ事業(再掲)(No. 57)					選択してください			生涯学習課
229	IV	1	(2)	地域コミュニティ協議会情報発信事業	市	市民・地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信・ネットワーク形成できる情報拠点として、ポータルサイト「コミねっと高松」を運営する。	引き続き、地域情報の情報拠点として活用していく。	地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信・ネットワーク形成できる情報拠点として活用することができた。	5	情報の更新も頻繁に行うことができ、積極的な情報発信ができた。	引き続き、地域情報の情報拠点として活用していく。	地域政策課 コミュニティ推進課
230	IV	1	(2)	市民活動センター情報発信事業	市	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、NPO等団体の情報を収集・発信する。	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、市民活動団体の情報を収集・発信する。	①ホームページ「ふらっと高松」での情報収集・発信【随時】 ②情報誌「コラボたかまつ」発行4回/年 ③情報誌「コロラボ」発行8回/年 ④メルマガ配信2回/月 ⑤フェイスブック【随時】	4	ホームページを中心に、情報誌やメールマガジン、フェイスブック等、各種の媒体を活用して、情報発信が行えた。	ホームページ「ふらっと高松」を始めとするこれまでの情報発信事業に加え、新たな取組として、ケーブルテレビのコミュニティチャンネルを活用し、市民活動団体等の活動紹介チャンネルを設け、PRを行う協働事業に取り組む。	コミュニティ推進課 市民協働推進室
231	IV	1	(2)	まなびCANホームページ情報発信事業	市	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信した。	3	計画どおり実施した。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	IV	1	(2)									
232	IV	1	(2)	瀬戸内アートネットワーク事業(再掲)(No. 139)					選択してください			美術館美術課
233	IV	1	(2)	家庭・地域の教育力向上推進事業(再掲)(No. 175)					選択してください			生涯学習課
234	IV	1	(3)	生涯学習センター等の学習相談事業	市	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	システム開発ができなかったため、体制はできていないが、市民やコミュニティセンター職員からの学習相談に、窓口、電話、Eメールで対応した。	3	計測はできなかった。	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	生涯学習センター
235	IV	1	(3)	ホームページ等の人材情報提供	市	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図った。	4	計画どおり実施した。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	
236	IV	1	(3)	レファレンスサービス	市	図書館所蔵の資料等を調べ、利用者からの問合せ調査の回答や学習に必要な資料の紹介を行う。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介する。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介した。	5	利用者からの問い合わせ・調査は概ね回答できた。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介する。	中央図書館
237	IV	1	(3)	消費生活相談事業(再掲)(No. 63)					選択してください			651安全安心課
238	IV I	2 5	(1) (2)	コミュニティセンター等パソコン講習会	市	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	5	計画どおり実施した。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	27事業内容(計画)	27事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	28事業内容(計画)	課名
	IV	2	(1)									
239	IV	2	(1)	情報モラル等指導支援事業	市内小中学校	すべての小中学校において教員の情報モラル研修及び学級担任による情報モラル教育を支援する。	改訂した情報モラルの啓発資料の配布を、新小学6年生及び保護者に配布し、意識の拡大・継承を図る。	情報モラルの啓発資料を改訂し、新小学6年生及び保護者に配布し、意識の拡大・継承を図った。	4	計画に沿って、啓発資料の改定を行い、小学6年生及び全保護者、PTA役員等に配布し、家庭での情報モラル教育の推進が図れた。	改訂した情報モラルの啓発資料の配布を、新小学6年生及び保護者に配布し、意識の拡大・継承を図る。	総合教育センター
240	IV	2	(2)	まなびCAN、Eメールサービス	市	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信する。	広報たかまつ発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数300人を目指す。	広報たかまつ発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数480人であった。	5	計画を大幅に上回って実施した。	広報たかまつ発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数300人を目指す。	生涯学習センター
241	IV	2	(2)	まなびCANインターネット塾	市	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで8講座公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで4講座公開した。	3	情報公開件数は、目標に達しなかった。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで8講座公開する。	生涯学習センター
242	IV III	2 3	(2) (1)	収蔵品システム運営事業	市	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行った。	5	未整理資料の整理が進むとともに、本市HPからシステムへアクセスしやすい環境づくりをした。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館ほか
243	IV	2	(2)	図書のインターネット予約サービス	市	図書館利用者カードの所有者を対象に、図書館ホームページからインターネット蔵書予約等を行う。	図書館利用者カードを持っている方は、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができる。	図書館利用者カードの所有者に、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができるよう維持・整備を図った。	5	予約件数は、目標を上回った。	図書館利用者カードの所有者に、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができるよう維持・整備を図る。	中央図書館
244	IV	2	(2)	新しいメディアの活用	市	「メルマガもつと高松」への行事等の登録(市民への情報配信)	生涯学習課主催・共催等の行事を「メルマガもつと高松」へ登録し、月2回の情報配信をする。	生涯学習課主催・共催等の行事、また事業のスタッフ募集等の情報配信を行った。	4	必要な情報を配信することができた。	生涯学習課主催・共催等の行事を「メルマガもつと高松」へ登録し、月2回の情報配信をする。	関係各課